

A501SJ 標準セット

取扱説明書

はじめに

このたびは、「A501SJ 標準セット」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 本機（A501SJ 標準セット）をご利用の前に、「お願いとご注意」および「取扱説明書（本書）」をご覧ください。
- IP無線機能は、販売代理店によりIP無線機位置情報サービス（設定サイト）から設定することができます。設定された内容により、本書内の動作と異なる場合がありますので、ご注意ください。設定内容の詳細につきましては、販売代理店にお問い合わせください。

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告なしに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お買い上げの販売代理店までご連絡ください。
- 取扱説明書（本書）の最新版は下記リンクよりダウンロードできます。
<https://www.softbank.jp/biz/services/mobile/lineup/ip-musenki/a501sj/>

取扱説明書について

記載内容について

取扱説明書では、基本的にお買い上げ時の状態での操作方法を説明しています。

また、特にことわりがない限り待受画面からの操作を中心に説明しています。操作説明は省略している場合があります。

ディスプレイ表示、キー表示について

取扱説明書で記載しているディスプレイ表示は、実際の表示と異なる場合があります。取扱説明書で記載しているキー表示は、説明用に簡略化しているため実際の表示とは異なります。

本書での表記や画面表示について

本書において、あらかじめ次の内容についてご了承ください。

- 「A501SJ 標準セット」の機器構成を「本機」と表記しています。
- 本機に搭載されているIP無線用アプリケーションを「本アプリ」と表記しています。

- 本機のディスプレイは、タッチパネルになっており、画面に直接触れて操作することもできます。本書では、本体のキーとディスプレイのタッチパネルの両方で操作できる場合は、本体のキーを使用した操作で説明しています。
- 本書内に記載しているイラストや画面は、実際の形状や画面表示などと異なる場合があります。

操作手順の表記について

本書では設定の操作手順などにおいて、次の操作を簡略化して記載しています。

-  (方向キー) によるメニューやキーなどの選択操作
 -  (決定キー) による選択項目の確定操作
 - キーを1秒以上押す操作を、「長押し」と表記しています。
- 例) 待受画面で  (Menuキー) を押し、表示されるメニューから  (上下方向キー) を押して「発着信履歴」を選択し、 (決定キー) で選択を確定する操作を次のように記載します。

1 待受画面で → 「発着信履歴」

登録商標について

- 「SoftBank」および「ソフトバンク」の名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- Wi-Fi[®]は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Bluetooth[®]は、米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- USB Type-C[™]はUSB Implementers Forumの商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

目次

はじめに

取扱説明書について.....	i
目次.....	iv

1 ご利用の準備

1

各部の名称とはたらき.....	2
イヤホン端子について.....	5
ベルトクリップについて.....	6
電池パックについて.....	6
USIM カードについて.....	8
eSIM について.....	11
充電する.....	13
電源を入れる／切る.....	14
スリープ状態を解除する.....	14
タッチパネルの使いかた.....	16

2 基礎知識／基本操作

19

基本的な操作のしくみ.....	20
マナーモードについて.....	21
Wi-Fi について.....	21
機内モードについて.....	24
文字を入力する.....	25
ソフトウェアの更新について.....	30

3 画面の見かた

33

画面について.....	34
通知バーについて.....	35
コントロールセンターについて.....	36

4 IP 無線

39

主な機能.....	40
基本的な操作のしくみ.....	41
無線機情報について.....	45
通話／接続の設定をする.....	46
呼び出して通話する.....	46
多機能ノブを利用する.....	52
通話履歴を確認する.....	54
着信に応答して通話する.....	55
番号帳を利用する.....	59
ショートカットを利用する.....	62
グループに登録する.....	64
通話を録音する.....	64
非常送信機能 (RED ALERT) を使用する.....	65
状態表示機能を使用する.....	67
位置情報機能を使用する.....	68
メッセージ機能を使用する.....	68
シンプルモードを利用する.....	75
IP 無線カメラを使用する.....	77
IP 無線の設定をする.....	84

5 アプリの基本

101

アプリについて.....	102
--------------	-----

6 便利な機能 105

ライトを点灯する	106
カレンダーを利用する	106
時計／アラームを利用する	109
ブラウザを利用する	115
ファイルを利用する	119
電卓を利用する	120
音声レコーダーを利用する	120

7 Bluetooth 123

Bluetooth [®] 機能を利用する	124
--------------------------------------	-----

8 端末設定 131

端末設定について	132
ネットワークとインターネット	133
アプリの確認	134
通知の設定	136
バッテリーの設定	137
ストレージの設定	138
音の設定	139
ディスプレイ設定	143
ユーザー補助の設定	146
セキュリティとプライバシーの設定	147
位置情報の設定	149
システムの設定	150
デバイス情報	154

9 困ったときは 155

トラブルシューティング	156
-------------------	-----

10 保証／仕様／お問い合わせ先 159

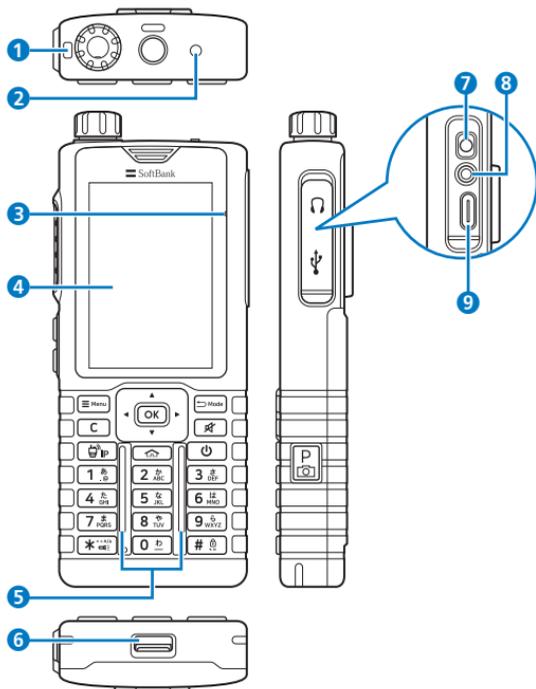
保証とアフターサービス	160
仕様	161
本製品の比吸収率 (SAR) について	162
Specific Absorption Rate (SAR) Information of This Product (for Japan)	163
お問い合わせ先	165
索引	167

1 ご利用の準備

各部の名称とはたらき	2
イヤホン端子について	5
ベルトクリップについて.....	6
電池パックについて	6
USIMカードについて	8
eSIMについて	11
充電する.....	13
電源を入れる／切る	14
スリープ状態を解除する.....	14
タッチパネルの使いかた.....	16

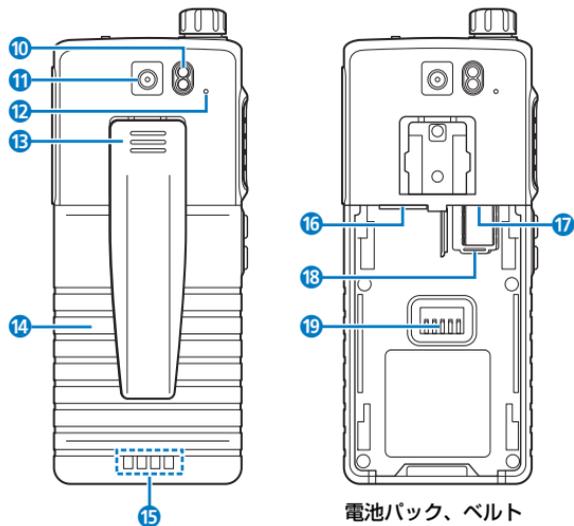
各部の名称とはたらき

本体正面／側面について



	名称	説明
①	ストラップホール	ストラップを取り付けます。
②	LED	不在着信や受信、充電状態などを通知します。 <ul style="list-style-type: none"> •不在着信：緑色に点滅 •メッセージ／画像受信：黄色に点滅 •充電中：赤色に点灯 •充電完了：青色に点灯 •サービスなし：赤色に点滅
③	前面マイク	自分の声を相手に伝えます。
④	ディスプレイ	ホーム画面や待受画面、各種設定画面などを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> •本機のディスプレイはタッチパネルです。
⑤	スピーカー	音声を出力します。
⑥	電池パック取り外しレバー	電池パックの取り外し時に使用します。
⑦	イヤホン端子	イヤホンを接続します。
⑧	イヤホン固定ナット	固定ねじ付きのイヤホンに使用します。
⑨	USB Type-C™端子	ACアダプタ（指定品）を接続し、充電します。

本体背面について

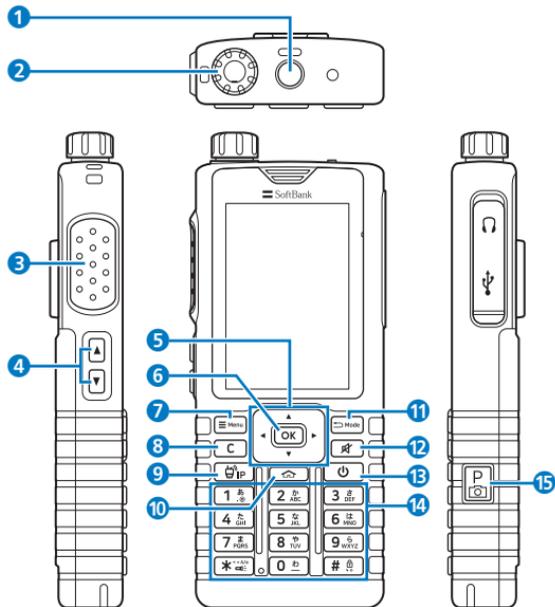


電池パック、ベルトクリップ取り外し時

	名称	説明
10	背面フラッシュ	ライトとして利用できます。
11	背面カメラ	写真／動画を撮影します。
12	背面マイク	自分の声を相手に伝えます。
13	ベルトクリップ	ベルト等に本機を固定します。
14	電池パック	本機の電池パックです。(→ P.6) 取り外すと USIM カードの取り付け／取り外しができません。
15	充電端子	本機に対応した卓上ホルダ(オプション)での充電時に使用します。
16	SD カードスロット	本機では使用できません。
17	USIM カードスロット	USIM アダプタの取り付け／取り外しを行います。(→ P.8)
18	USIM アダプタ	USIM カードを取り付けます。
19	電池パック接続端子	電池パックと接続します。

キーについて

IP無線アプリの利用中については、「キーのはたらき」(→ P.43) をご覧ください。



	名称	説明
1	非常スイッチ	IP 無線アプリの非常送信機能 (RED ALERT) を使用します。(→ P.65) 非常時に長押しするとサーバーに通知を行うことができます。
2	多機能ノブ	呼出モードの切り替えや発信先の選択に使用します。
3	PTT スイッチ	通話の発着信に使用します。(→ P.43) 発話時に長押ししている間は音声を送信されます。
4	音量キー (▲/▼)	操作音や着信音/通話音の音量を調節します。
5	▲ ▼ ◀ ▶ 方向キー	画面をスクロールします。 待受画面で押すと状態変更画面/番号帳画面/着信履歴/発信履歴を表示します。
6	OK 決定キー	文字入力時の決定と改行を行います。 選択したメニューを実行します。
7	Menu キー	現在表示している画面のメニューを表示します。
8	C キー	入力した文字を削除します。

	名称	説明
9	 IP 無線アプリキー	IP 無線アプリを起動します。 (→ P.41) IP 無線アプリの起動中に押すと待受画面を表示します。
10	 ホームキー	ホーム画面を表示します。 長押しするとアプリ一覧を表示します。
11	 戻る / Mode キー	前の画面に戻ります。 IP 無線アプリでは呼出モードの変更や通話中の終話、個別切替の操作ができます。
12	 スピーカーキー	長押しするとマナーモードの ON / OFF を切り替えます。
13	 電源キー	長押しすると電源が入ります。 (→ P.14) 電源が入っているときに押すと画面の表示 / 非表示を切り替えます。
14	テンキー	数字や文字を入力します。  を長押しすると背面フラッシュを点灯します。 待受画面で  を長押しするとシンプルモード (強) / 通常モードを切り替えます。
15	 カメラキー	長押しすると IP 無線アプリのカメラを起動します。(→ P.77)

イヤホン端子について

本機のイヤホン端子には、オプション品 (別売) の PTT スピーカーマイク (AMA610 (JD-500X) / PTT SPK MIC (Plastic)) や PTT イヤーマイク (XT-225P-510 (IP54)) を接続し、ご利用いただけます。

- オプション品の接続は、本機の電源を切ってから行ってください。

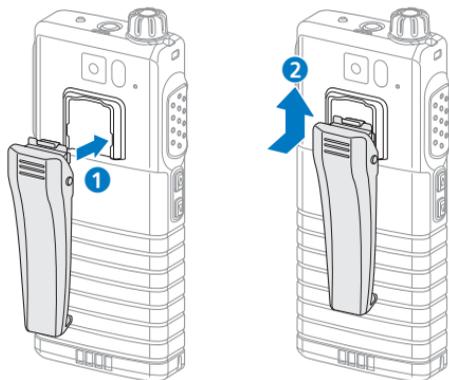
！ ご注意

- 上記オプション品以外の外部接続機器との接続・動作は保証しておりません。
- 本機にオプション品を接続する場合は、奥まで確実に差し込んでください。
- 動作が不安定な場合は、本機の電源を切り、プラグを差し込み直してから再度電源を入れてください。故障しているイヤホンやプラグ部に異物・汚れが付着しているイヤホンは接続しないでください。

ベルトクリップについて

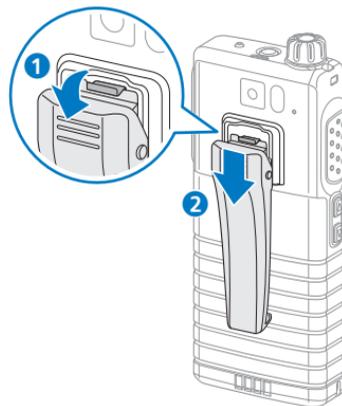
ベルトクリップを取り付ける

- 1 ベルトクリップ裏の突起とベルトクリップ取付部の溝の位置を合わせ (①)、ベルトクリップを本体に押し付けながら「カチッ」と音がするまで上にスライドする (②)



ベルトクリップを取り外す

- 1 ベルトクリップ裏の金具を手前に引きながら (①)、ベルトクリップを下にスライドする (②)



電池パックについて

電池パックの取り付け／取り外しは、必ず電源を切り、ACアダプタを取り外した状態で行ってください。

！ ご注意

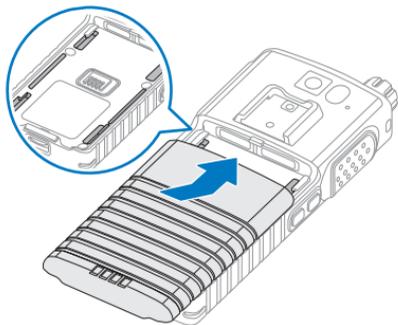
- 本機の電源が入っている状態で電池パックを取り外すと、データが消失・変化・破損することがあります。また、本機の故障の原因ともなります。
- 本機および電池パックの端子に触れないようご注意ください。

- 電池パックを取り付けるときは、電池パックの向きを確かめてください。
誤った向きで取り付けると、電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パックを取り付ける

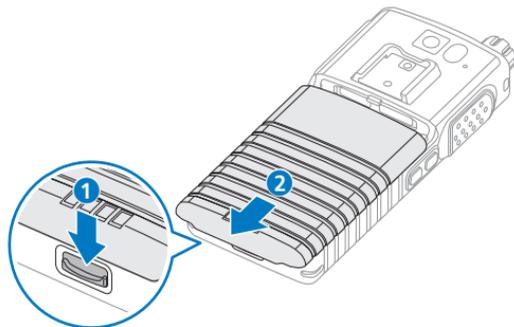
1 電池パック裏側の突起と本体の位置を合わせて電池パックを押し付けながら、「カチッ」と音がするまでスライドする

- 防水／防塵性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。



電池パックを取り外す

1 電池パック取り外しレバーを下に押しながら (①)、電池パックをスライドする (②)



■ 使用済み電池パックの取扱い注意事項

- 端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。



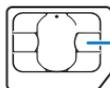
不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店、お買い上げの販売代理店へお持ちください。
リサイクルにご協力をお願いいたします。

USIMカードについて

USIMカードは、お客様の電話番号や情報などが記録されたICカードです。

USIMカードのお取り扱い

- USIMカードのお取り扱いについては、下記のソフトバンクのウェブサイトをご覧ください。
<https://www.softbank.jp/mobile/support/protect/usim/>
- 他社製品のICカードリーダーなどにUSIMカードを挿入し故障した場合は、お客様ご自身の責任となり当社は責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。



IC部分

- お手入れは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。
- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失・破損によるUSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約などの際は、当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされます。

- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- USIMカードや端末本体（USIMカード挿入済み）を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。詳しくは、お問い合わせ先までご連絡ください。
- USIMカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- 本機は専用USIMカードが必要です。本機の専用USIMカードは、他の携帯電話機では使用できません。

USIMカードを取り付ける

必ず電源を切ったあとで行ってください。

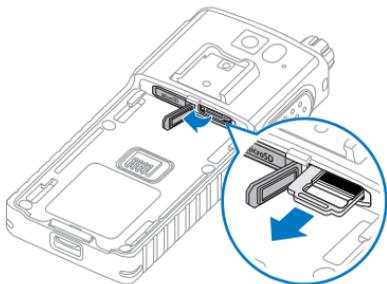
！ ご注意

- USIMカードを取り扱う際には、切断面にご注意ください。けがの原因となります。
- IC部分を不用意に触れたりショートさせないでください。データの消失、故障の原因となります。

1 電池パックを取り外す (→P.7)

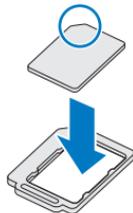
2 USIMカードスロットカバーを開け、USIMアダプタを取り出す

- カチッと音がするまで押し込むと、USIMアダプタが少し飛び出して取り出すことができます。
- USIMカードスロットカバーを閉じたままカチッと音がするまで上から押し込んでから開けると、より取り出しやすくなります。



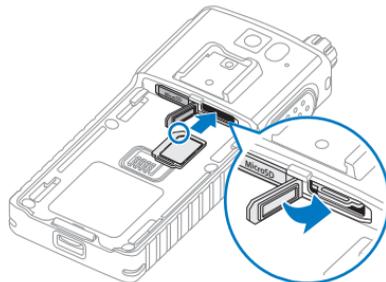
3 USIMカードのIC部分の面を下にして、矢印の方向にUSIMアダプタにはめ込む

- USIMカードの切り欠きの向きにご注意ください。



4 USIMアダプタを矢印の方向に奥まで差し込み、USIMカードスロットカバーを閉じる

- USIMカードスロットカバーの上から押すと、奥まで差し込みやすくなります。
- カチッとロックされるまでUSIMアダプタを押し込んでください。



5 電池パックを取り付ける (→P.7)

USIMカードの取り付けが完了します。

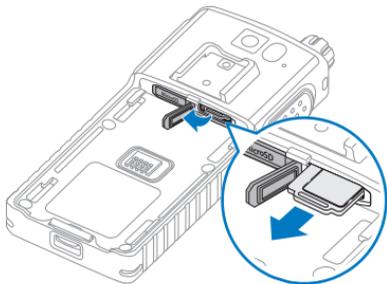
USIMカードを取り外す

必ず電源を切ったあとで行ってください。

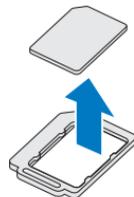
1 電池パックを取り外す (→P.7)

2 USIMカードスロットカバーを開け、USIMアダプタを取り出す

- カチッと音がするまで押し込むと、USIMアダプタが少し飛び出して取り出すことができます。
- USIMカードスロットカバーを閉じたままカチッと音がするまで上から押し込んでから開けると、より取り出しやすくなります。

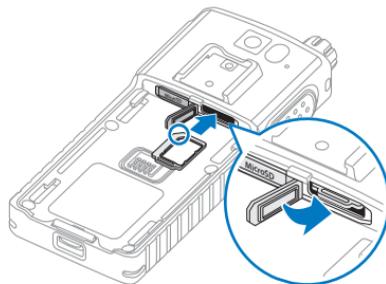


3 USIMアダプタからUSIMカードを矢印の方向に引き抜いて取り出す



4 USIMアダプタを矢印の方向に奥まで差し込み、USIMカードスロットカバーを閉じる

- USIMカードスロットカバーの上から押すと、奥まで差し込みやすくなります。
- カチッとロックされるまでUSIMアダプタを押し込んでください。



5 電池パックを取り付ける (→P.7)

USIMカードの取り外しが完了します。

eSIMについて

eSIMは、端末内にあらかじめ埋め込まれた本体一体型のSIMです。eSIM対応端末であればUSIMカードのように本体にSIMカードを差し替えることなく、ご契約と設定のみで回線をご利用いただくことができます。

※ eSIMのご利用にはオプションサービスへの加入が必要です。

お知らせ

- eSIMのお取り扱いについては、下記のウェブサイトをご参照ください。
<https://www.softbank.jp/mobile/support/product/sim/esim/>

eSIMを有効／無効にする

1 待受画面で

ホーム画面が表示されます。

2 (アプリ一覧) → (設定) → 「ネットワークとインターネット」 → 利用するSIMを切り替える

- USIMカードが有効な場合はeSIMへ、eSIMが有効な場合はUSIMカードへ切り替える設定が表示されます。
- 切り替え後、本機が再起動します。



！ ご注意

- 本機では、2種類のSIM（USIMカード／eSIM）のうち、有効に設定した1つだけがネットワークにつながります。

eSIMをダウンロードする

eSIMのダウンロードは、eSIMを有効化し、Wi-Fiに接続してから行ってください。

- Wi-Fi接続しないとeSIMのダウンロードはできません。
- Wi-Fi接続のしかたについては「Wi-Fiについて」(→ P.21) をご覧ください。

1 待受画面で

ホーム画面が表示されます。

2 (アプリ一覧) → (設定) → 「ネットワークとインターネット」 → 「eSIM設定」

3 「携帯通信会社を追加」 → 「同意する」



利用規約に同意します。

4 QRコードをスキャン

- スキャン時に写真と動画の撮影について許可を求められた場合は、画面の指示に従って許可してください。

5 「有効化」

副回線を有効化します。

eSIMを消去する

eSIMの消去は、eSIMを有効化してから行ってください。

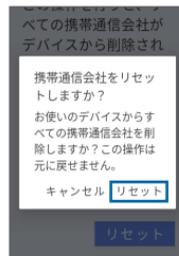
1 待受画面で

ホーム画面が表示されます。

2 (アプリ一覧) → (設定) → 「ネットワークとインターネット」 → 「eSIM設定」

3 「携帯通信会社のリセット」

4 「リセット」 → 「リセット」



! ご注意

- eSIMを消去した後に再度eSIMを利用する場合は、eSIMダウンロード用のQRコードの再発行が必要になります。eSIMを消去した場合でも、ご契約が解除されたわけではありません。

充電する

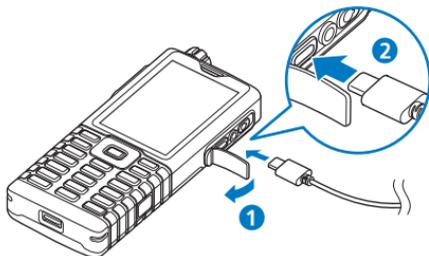
！ ご注意

- 電池パックは、必ず本機に取り付けた状態で充電してください。
- お使いになるACアダプタの取扱説明書をご覧ください。
- 高温環境で使用すると、充電が停止することがあります。

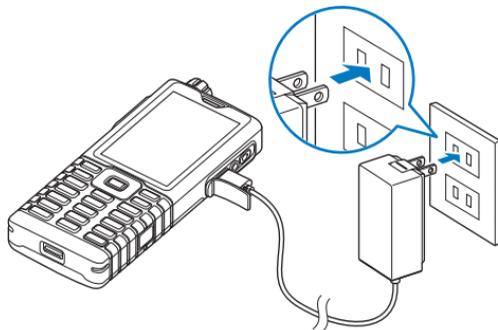
ACアダプタで充電する

ここでは、ACアダプタ（SoftBank SELECTION製 USB PD-PPS対応 USB Type-C 急速充電ACアダプタ [SB-AC22-TCPD]）を使用して充電する方法を例に説明します。

- 1 本機のUSB／イヤホン端子キャップを開き
- (1)、ACアダプタのUSB Type-Cプラグを水平に差し込む (2)



- 2 ACアダプタの電源プラグを家庭用ACコンセントに差し込む



充電が開始されます。充電中は、LEDが赤色に点灯します。

- LEDが点灯しない場合は正しく充電が行われていません。本機のUSB Type-C™端子からUSB Type-Cプラグを抜いて、再度USB Type-C™端子の奥までUSB Type-Cプラグを差しなおしてください。USB Type-Cプラグを差しなおしたときにLEDが点灯することを確認してください。それでもLEDが点灯しない場合は、電池パックの装着が不完全となっている恐れがあります。電池パック接続端子にゴミなどが付いていないことを確認のうえ、再度電池パックを取り付けなおしてください。
- 充電が完了すると、LEDが青色で点灯します。
- 充電が完了したら、ACコンセントからACアダプタの電源プラグを抜き、本機のUSB Type-C™端子からUSB Type-Cプラグを水平に抜いてください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 を長押し

電源が入ると、待受画面が表示されます。

- 画面ロックを「パスワード」に設定している場合は、ロック画面の上にスワイプするとパスワード入力画面が表示されます。画面ロックの解除については「画面ロックを解除する」(→P.16) をご覧ください。

電源を切る

1 を長押し

2 「OK」



電源が切れます。

スリープ状態を解除する

本機を一定時間何も操作しないと、電池消費を抑えるため、画面が消灯してスリープ状態になります。

スリープ状態は、 を押し解除することができます。画面ロックを設定している場合は、「画面ロックを解除する」(→P.16) の手順に従ってロックを解除してください。画面ロックの設定方法については、「画面ロックについて」(→P.15) をご覧ください。

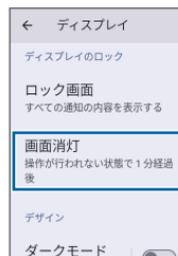
スリープ設定について

本機をスリープ状態にするまでの時間を設定できます。

1 待受画面で

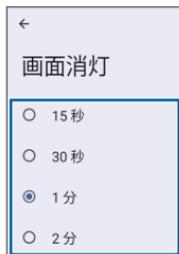
ホーム画面が表示されます。

2 (アプリ一覧) → (設定) → 「ディスプレイ」 → 「画面消灯」



3 スリープ状態になるまでの時間を設定

- 時間は「15秒」「30秒」「1分」「2分」「5分」「10分」「30分」から選択できます。



設定が完了します。

画面ロックについて

画面ロックを設定することで、キー操作が無効になり誤動作や他人による使用を防止することができます。

1 待受画面で

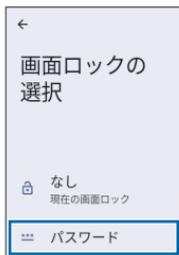
ホーム画面が表示されます。

2 (アプリ一覧) → (設定) → 「セキュリティとプライバシー」 → 「デバイスのロック解除」 → 「画面ロック」



- パスワードの確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って入力します。

3 「パスワード」



4 画面の指示に従って、パスワードを設定

画面ロック設定が完了します。

画面ロックを解除する

1 画面ロック中に

スリープモードが解除され、ロック画面が表示されません。

2 ロック画面を上をスワイプ

パスワードの入力画面が表示されます。

3 パスワードを入力

画面ロックが解除されます。

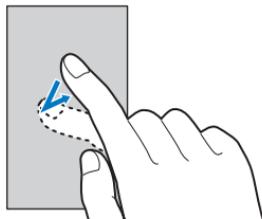
タッチパネルの使いかた

本機のディスプレイはタッチパネルになっており、指などでディスプレイに直接触れて操作することもできます。本機はタッチパネルでの操作を推奨します。

- IP無線アプリ内では、「画面タッチ設定」(→P.92)で「タッチ操作有効」に設定している場合に有効です。

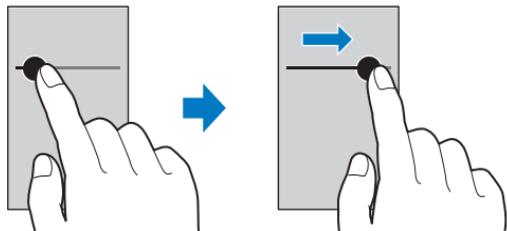
タップ

画面に触れて、すぐに指などを離します。



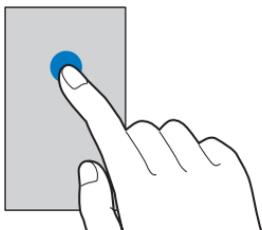
ドラッグ

スライダーなどの対象物に触れたまま目的の位置までなぞって移動させ、指などを離します。



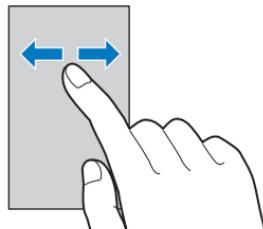
ロングタッチ

画面に軽く触れたまま、しばらくそのまましておきます。画面が切り替われば指などを離します。



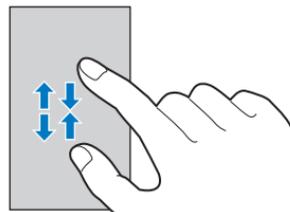
スワイプ

画面に軽く触れて、上下左右に指などを軽くはじきます。



ピンチ

2本の指で画面に触れて、指を開いたり閉じたりします。



2 基礎知識／基本操作

基本的な操作のしくみ	20
マナーモードについて	21
Wi-Fiについて	21
機内モードについて	24
文字を入力する	25
ソフトウェアの更新について	30

基本的な操作のしくみ

項目選択と画面移動

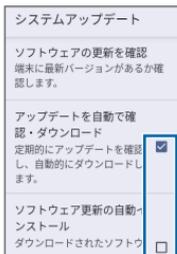
メニュー画面などでは、項目や画面のボタンを で選択して (決定) を押すと、該当する操作の画面に移動します。

- 1つ前の画面に戻るときは、 を押します。
- 1画面内に表示されない項目がある場合は、 を押すと表示することができます。
- 販売代理店での設定により、項目が非表示またはグレー表示され選択できない場合があります。

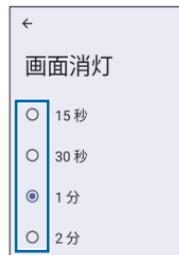
端末設定と設定操作

設定項目には、チェックボックス (/) やラジオボタン (/)、トグルスイッチ (/) が付いたものがあります。

チェックボックスは で選択して (決定) を押すと有効 () / 無効 () が切り替わります。



ラジオボタンの項目は で選択して (決定) を押して選択します。通常、複数の選択項目から1つのみ選択できます。



トグルスイッチは (決定) を押すたびに有効 () / 無効 () が切り替わります。



マナーモードについて

周囲に迷惑がかからないよう、通知音や操作音などが鳴らないように設定できます。

1 を長押し

通知バーに  アイコンが表示され、マナーモードに設定されます。

- 同じ操作を繰り返すと、マナーモードを解除できます。



Wi-Fiについて

Wi-Fiアクセスポイントに接続してインターネットを利用できます。

1 (設定) → 「ネットワークとインターネット」 → 「インターネット」

インターネット画面が表示されます。

2 「Wi-Fi」



- 「Wi-Fi」を選択するたびに、ON () / OFF () が切り替わります。

3 アクセスポイントを選択



4 パスワードを入力→「接続」



Wi-Fi接続が完了します。

お知らせ

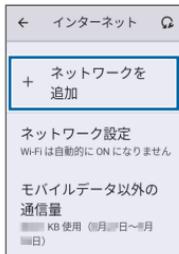
- パスワードは、ご家庭用の無線LANルーターであれば、「WEP」や「WPA」、「KEY」などと、ルーター本体にシールで貼られている場合があります。詳しくは、ルーターのメーカーにお問い合わせください。また、公衆無線LANのパスワードはご契約のプロバイダーにご確認ください。
- セキュリティで保護されていないアクセスポイントのときは、パスワードを入力する必要はありません。

■ Wi-Fi利用時の操作

- **高品質のネットワークを検出したとき、Wi-Fiを自動的にONにするかどうかを設定する**
インターネット画面で「ネットワーク設定」→「Wi-Fiを自動的にONにする」
- **パブリックネットワークが利用できるとき、通知するかどうかを設定する**
インターネット画面で「ネットワーク設定」→「利用可能なパブリックネットワークを通知する」
- **証明書をインストールする**
インターネット画面で「ネットワーク設定」→「証明書をインストール」→画面の指示に従って操作
- **Wi-Fi利用時のデータ通信量を確認する**
インターネット画面で「モバイルデータ以外の通信量」→確認する期間を選択
- **接続中のアクセスポイントの状況を確認する**
インターネット画面で、接続中のアクセスポイントをタップ
接続状況、電波強度、セキュリティなどが表示されます。

■ アクセスポイントを手動で設定する

1 インターネット画面でWi-FiをONにする→「ネットワークを追加」



2 ネットワーク名を入力



3 セキュリティを選択→パスワードを入力→「保存」



接続が完了します。

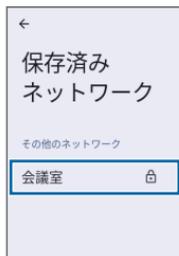
- セキュリティを設定しないアクセスポイントのときは、パスワードを入力する必要はありません。

■ 保存したアクセスポイントを削除する

1 インターネット画面で「保存済みネットワーク」



2 削除するネットワークを選択



3 「削除」



アクセスポイントの削除が完了します。

機内モードについて

電源を入れたまま、通話やメッセージの送受信など、電波を発する機能をすべて無効にできます。

1 待受画面で

ホーム画面が表示されます。

2 (アプリ一覧) → (設定) → 「ネットワークとインターネット」



ネットワークとインターネット画面が表示されます。

3 「機内モード」



通知バーに  アイコンが表示され、機内モードに設定されます。

- **OK** (決定) を押すたびに、ON () / OFF () が切り替わります。

文字を入力する

テンキーによる入力について

本機の数字 / 文字入力キー (テンキー) を使って、ひらがな、漢字、カタカナ、英数字、記号を入力できます。テンキーに割り当てられている文字は次のとおりです。

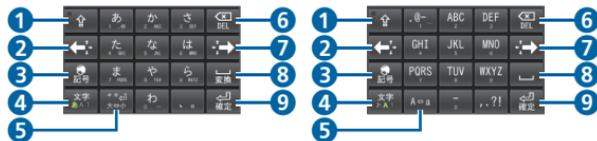
キー	ひらがな	英字	数字
1 	あいうえお あいうえお	. @ - _ / : ~ 1	1
2 	かきくけこ	a b c A B C 2	2
3 	さしすせそ	d e f D E F 3	3
4 	たちつとっ	g h i G H I 4	4
5 	なにぬねの	j k l J K L 5	5
6 	はひふへほ	m n o M N O 6	6
7 	まみむめも	p q r s P Q R S 7	7
8 	やゆよ やゆよ	t u v T U V 8	8
9 	らりるれろ	w x y z W X Y Z 9	9
0 	わをん わー	0	0
* 	* ° (改行) (大文字小文字切り替え ※1)	(改行) (大文字小文字切り替え ※1)	*
#	、。?!・ (全角スペース)	..?!; (半角スペース)	#

※1 文字入力中に有効です。

ソフトウェアキーボードによる入力について

ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使用して文字を入力します。

- 12キー：一般の携帯電話のようなキー配列のキーボードです。入力したい文字が割り当てられているキーを文字が入力されるまで数回タップして入力します。



12キー（日本語・数字）

12キー（英字）

	説明
①	記号の入力や切り取り／コピー／貼り付けなどの機能を利用できます。
②	カーソルを左に移動します。
③	顔文字／記号などの一覧を表示します。
④	文字種を「ひらがな漢字」→「英字」→「数字」の順に切り替えます。
⑤	大文字／小文字の切り替え、濁点／半濁点や改行の入力を行います。 •数字キーの場合は「*」を入力します。
⑥	カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。

	説明
⑦	カーソルを右に移動します。 •同じキーに割り当てられている文字を続けて入力するときにもタップしてください。
⑧	スペースを入力します。 •かなが入力されている場合は変換候補を選択できます。
⑨	入力した文字の確定や改行、次の入力欄への移動などができます。 •数字キーの場合は「#」を入力します。

文字入力の基本操作

テンキー

1つのキーには、キーに表示されているような複数の文字が割り当てられており、押す回数によって表示される文字が変わります。

- 変換候補の選択と確定は **[▲]** **[▼]** **[◀]** **[▶]** と **[OK]** (決定) で行います。
- カーソルの移動は **[▲]** **[▼]** **[◀]** **[▶]** で行います。
- 入力した文字を削除するときは **[C]** を押すと、カーソルの前にある文字が1文字削除されます。

ソフトウェアキーボード

ディスプレイ上に表示されるキーボードを利用します。1つのキーには複数の文字が割り当てられており、タップする回数によって表示される文字が変わります。

- 変換候補の選択と確定は **[変換]** と **[確定]**、または変換候補を直接タップして行います。**[▲]** **[▼]** **[◀]** **[▶]** と **[OK]** (決定) で行うこともできます。
- カーソルの移動は **[←]** **[→]**、または位置を直接タップして行います。**[▲]** **[▼]** **[◀]** **[▶]** で行うこともできます。
- 入力した文字を削除するときは **[DEL]** をタップすると、カーソルの前にある文字が1文字削除されます。
- 入力中に **[Mode]** を押すと、ソフトウェアキーボードが非表示になります。ソフトウェアキーボードを再び表示させるには、文字入力欄をタップしてください。

文字種（文字入力モード）を切り替える

設定できる文字種は次のとおりです。文字種のアイコンはソフトウェアキーボード上に表示されます。

アイコン	説明
	ひらがな漢字
	英字
	数字

1 文字入力画面で / /



/ / をタップするたびに文字種が切り替わります。

文字を入力する

テンキー

「鈴木」と入力する方法を例に説明します。

- 1 文字入力画面で **3** ま DEF (**3回：ず**) → **▶** →
3 か ABC (**3回：ず**) → ***** ろ +ABC (**1回：ず**) → **▶** →
2 か ABC (**2回：き**)



入力した文字に従って、変換候補が表示されます。

- 一定時間が経過すると、カーソルが自動的に右に移動します。その場合、**▶**を押す操作は必要ありません。

- 2 **▼** **▲** **◀** **▶** で変換候補から「鈴木」を選択
 択 → **OK** (決定)



文字が変換されます。

■ ソフトウェアキーボード

「鈴木」と入力する方法を例に説明します。

- 1 文字入力画面で **さ** (3回：す) → **→** (1回) → **か** (3回：す) → **→** (1回：ず) → **→** → **か** (2回：き)



入力した文字に従って、変換候補が表示されます。

- 一定時間が経過すると、カーソルが自動的に右に移動します。その場合、**→** をタップする操作は必要ありません。

2 変換候補から「鈴木」を選択



文字が変換されます。

ソフトウェアの更新について

ネットワークを利用してソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには更新ができます。

お知らせ

- 本機の状況（故障・破損・水濡れなど）によっては、保存されているデータが破棄されることがあります。必要なデータは、ソフトウェア更新前にバックアップしておくことをおすすめします。なお、データが消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

！ ご注意

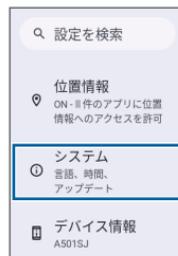
- 更新が完了するまで、本機は使用できません。ソフトウェア更新には時間がかかることがあります。
- 電波状況のよい所で、移動せずに操作してください。また、電池残量が十分ある状態で操作してください。更新途中で電波状態が悪くなったり、電池残量がなくなると、更新に失敗することがあります。更新に失敗すると本機が使用できなくなることがあります。

ソフトウェアを更新する

1 待受画面で

ホーム画面が表示されます。

2 (アプリ一覧) → (設定) → 「システム」



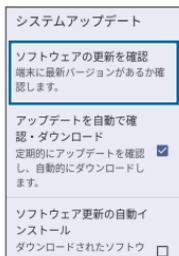
システム画面が表示されます。

3 「システムアップデート」



システムアップデート画面が表示されます。

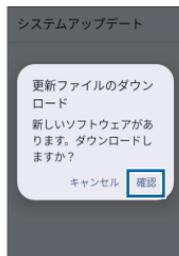
4 「ソフトウェアの更新を確認」



確認結果が表示されます。

- すでに最新バージョンを使用している場合はアップデートの必要はありません。アップデートが必要な場合は次の手順に進んでください。
- 「アップデートを自動で確認・ダウンロード」にデフォルトでチェックが入っていますので、更新ファイルを確認次第自動的にダウンロードし、手順6に移動します。
- 「ソフトウェア更新の自動インストール」にチェックを入れた場合、更新ファイルのダウンロード後に自動的に本機が再起動し、最新ソフトウェアが適用されます。

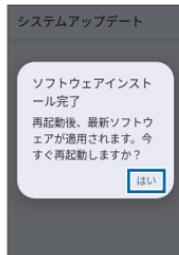
5 「更新ファイルのダウンロード」 → 「確認」



ダウンロードが開始されます。

- ダウンロード中は通知バーに が表示されます。

6 「ソフトウェアインストール完了」 → 「はい」



本機が再起動し、最新ソフトウェアが適用されます。

2

基礎知識／基本操作

3 画面の見かた

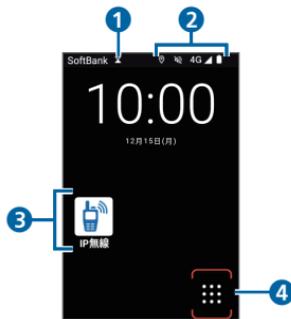
画面について	34
通知バーについて	35
コントロールセンターについて	36

画面について

ホーム画面

ホーム画面は、IP無線などのアプリの起動、各種設定、各種通知の確認が行えます。

待受画面でを押したときに表示されます。



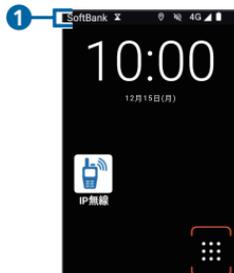
ホーム画面

	名称	説明
①	通知アイコン表示部	カレンダーやアラームの通知などの各種通知アイコンを表示します。(→ P.35)
②	システムアイコン表示部	電池レベルや電波レベルなど、本機の状態に関する情報が表示されます。
③	アプリアイコン表示部	各種アプリのアイコンを表示します。
④	アプリ一覧アイコン	アプリ一覧画面を表示します。(→ P.102)

通知バーについて

通知バーの見かた

画面上部の通知バー (1) には、本機の状態を示すアイコンが表示されます。



おもな通知アイコン

通知バーの左から表示される通知アイコンには、次のようなものがあります。

アイコン	説明
	カレンダーの通知あり
	アラームの通知あり
	タイマー使用中
	ストップウォッチ使用中
	背面フラッシュ点灯中
	ダウンロードファイルあり
	システムの通知あり
	ソフトウェアアップデート中
	IP 無線アプリ動作中
	非表示の通知あり

おもなステータスアイコン

通知バーの右から表示されるステータスアイコンには、次のようなものがあります。

アイコン	説明
	電池レベル
	充電中
	バッテリーセーバー設定中
	機内モード設定中
	電波レベル
	4G ネットワーク接続状態
	マナーモード中
	Bluetooth [®] 接続中
	位置情報取得中
	Wi-Fi 接続中
	VPN 接続中 ^{※1}
	非表示の通知あり

※1 Wi-FiやeSIM副回線の利用時にはVPNに接続され、本アイコンが表示されます。

コントロールセンターについて

コントロールセンターでは、着信などの通知や実行中の機能を確認できます。

コントロールセンターを開く

1 画面上部を下にスワイプ



コントロールセンターが表示されます。

コントロールセンターの見かた

コントロールセンターには、着信などの通知や実行中の機能が一覧表示されます。通知内容はスクロールして表示されます。



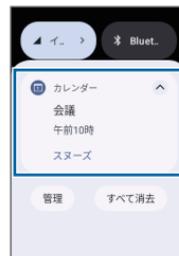
	名称	説明
①	機能ボタン	各機能の ON / OFF を切り替えます。 下にスワイプすると、表示されていない機能を表示させることができます。
②	通知	通知を表示します。タップすると詳細を表示します。
③	管理	通知方法を管理します。
④	すべて消去	通知をすべて消去します。

通知を確認する

1 画面上部を下にスワイプ

コントロールセンターが表示されます。

2 通知を選択



メッセージ画面など、選択した通知に対応する画面が表示されます。

- 確認した通知は通知一覧から削除される場合があります。

3

画面の見かた

通知を削除する

- 1 画面上部を下にスワイプ
コントロールセンターが表示されます。
- 2 通知を左右にスワイプ



通知が削除されます。

通知を全件削除する

- 1 画面上部を下にスワイプ
コントロールセンターが表示されます。
- 2 「すべて消去」



通知が全件削除されます。

4 IP無線

主な機能.....	40
基本的な操作のしくみ	41
無線機情報について	45
通話／接続の設定をする.....	46
呼び出して通話する	46
多機能ノブを利用する	52
通話履歴を確認する	54
着信に应答して通話する.....	55
番号帳を利用する	59
ショートカットを利用する.....	62
グループに登録する	64
通話を録音する	64
非常送信機能（RED ALERT）を使用する	65
状態表示機能を使用する.....	67
位置情報機能を使用する.....	68
メッセージ機能を使用する.....	68
シンプルモードを利用する.....	75
IP無線カメラを使用する	77
IP無線の設定をする	84

主な機能

本アプリでは、日本国内のソフトバンク携帯通信網を利用して、あらかじめグループとして設定されている他のIP無線機と、次のような通話や通信、機能が利用できます。

- 一斉通話やグループ通話、個別通話などさまざまな種類の通話ができます。
- 番号帳や通話履歴から他のIP無線機の個別番号を選択して、メッセージを送信できます。
- 本アプリで設定した状態情報、GPS情報を使用して、A501SJの動態情報を確認することができます（オプションサービス）。

指令局と移動局について

同一グループ内のIP無線機の管理用として、任意のA501SJを「指令局」に設定することができます。「指令局」とは、IP無線機位置情報サービスとペアで使用するIP無線機で、管理者が使用します。指令局以外の一般ユーザーが使用するIP無線機を「移動局」と呼びます。

- 指令局では次のことが行えません。
 - 「指令局呼出」の使用
 - 「近隣呼出」の使用
 - 非常送信機能（RED ALERT）の使用
 - 状態表示機能の使用
 - 位置情報機能の使用
 - メッセージ機能の使用
 - グループ登録機能の使用

指令局転送機能（すべり）について

移動局からの「グループ呼出」「強制グループ呼出」「地域呼出」「近隣呼出」には、1つの指令局が含まれます。指令局が複数ある場合は一番若い番号の指令局が呼出対象となります。

「一斉呼出」「強制一斉呼出」では、全指令局または1つの指令局が呼出対象となります。

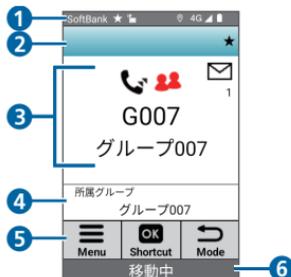
なお、お申し込み時に「指令局転送機能（すべり）」の「あり」「なし」を選択でき、動作は次のようになります。

呼出モード	指令局転送機能（すべり）	
	あり	なし
「グループ呼出」 「強制グループ呼出」 「指令局呼出」 「地域呼出」 「近隣呼出」 「音声モニタ」	呼出対象となる指令局が話中の場合、次に若い番号が自動的に呼出対象となります。	指令局が通話中の場合、他の指令局への接続はできません。
「一斉呼出」 「強制一斉呼出」	すべての指令局が呼出対象となります。	一番若い番号の指令局だけが呼出対象となり、他の指令局への接続はできません。

基本的な操作のしくみ

起動と待受画面

待受画面は、本アプリの操作の中心となる画面です。電源を入れた直後や(📶)を押したときなどに表示されます。



名称	説明
1 通知バー	本アプリが通知バーに表示するアイコンには、次のようなものがあります。 : シンプルモード (強) : 不在着信あり : 未読メッセージあり : RED ALERT 状態 : 画像ファイルあり

	名称	説明
2	通話状態表示部	通信状況や GPS 情報の取得状況を色で通知します。 灰色：未接続 青色：接続完了・GPS 情報取得時 橙色：接続完了・GPS 情報未取得時 RED ALERT 状態 (→ P.65)、シンプルモード (強) 中は右端にアイコン (★/🔒) を表示します。
3	待受表示部※1	発着信情報や未読メッセージの件数などを表示します。 未読メッセージがない場合、未読メッセージのアイコン、件数は表示されません。
4	グループ表示部※2	グループに所属している場合、所属しているグループ名を表示します。 複数のグループに所属している場合は、グループ一覧 (所属グループ) 画面で表示される先頭のグループ名のみ表示します。グループに所属していない場合、グループ名は表示されません。 本機の電源 ON、グループ一覧確認やグループ登録 (→ P.95) によりグループ情報を取得した場合に表示内容を更新します。
5	キーガイド	(Menu)、(OK)、(Mode) を押したときの動作を表示します。
6	状態表示部	状態表示変更画面で設定した状態を表示します。(→ P.67)

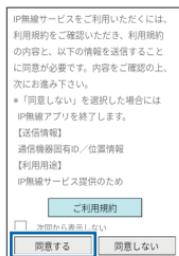
※1 名称が長い場合は省略文字(…)で表示されます。

※2 位置情報サービスにて所属グループが変更された場合、変更されたグループ情報を本アプリが取得するまで表示は更新されません。

お知らせ

- ・ 初回起動時は、ご利用規約の同意確認画面が表示されますので、次の操作手順で本アプリを起動してください。

1 ご利用規約を確認して「同意する」



- ・ 「ご利用規約」からご利用規約画面を表示することができます。
- ・ 「次回から表示しない」にチェックを入れると、次回電源を入れても同意確認画面は表示されません。ただし、本アプリのアップデートによりご利用規約が変更された場合や設定情報をリセットした場合は再度表示されます。

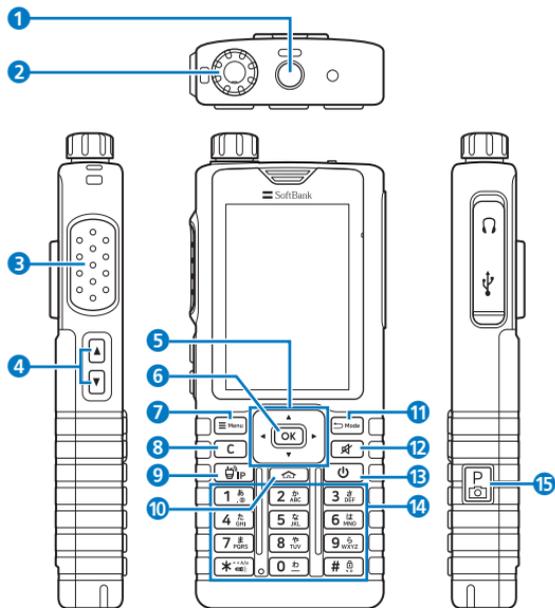
- ・ 本アプリ以外を使用しているときでも、ホーム画面で  を選択したり、 またはPTTスイッチを押すと本アプリを表示できます。

メニュー操作

待受画面で  を押すと、本アプリで利用できる機能のメニュー画面が表示されます。また、各機能の画面で  を押すと、その画面で利用できる設定や項目が表示されます。



キーのはたらき



	キー	説明
①	非常スイッチ	非常送信機能 (RED ALERT) を起動／解除します。(→ P.65)
②	多機能ノブ	呼出モードや番号帳から発信先を選択できます。(→ P.52)
③	PTT スイッチ	通話の発信や、着信時の応答に使用します。発話時に長押ししている間は音声を送信されます。「個別切替設定」を「利用する (Mode キーまたは PTT スイッチ)」に設定している場合は、「個別呼出」、「指令局呼出」以外の着信に应答してから、発信者との個別通話に切り替えることができます。(→ P.57)
④	音量キー (▲/▼)	通話中は (▲) で受話音量を上げ、(▼) で受話音量を下げます。通話中以外は (▲) で通知音量を上げ、(▼) で通知音量を下げます。(画面ロック中も有効)

	キー	説明
5	 方向キー	メニューなどの項目の選択に使用します。 上：待受画面で状態変更画面を表示します。 下：待受画面で番号帳画面を表示します。 左：待受画面で着信履歴画面を表示します。 右：待受画面で発信履歴画面を表示します。
6	 決定キー	メニューなどの項目の決定に使用します。 待受画面でショートカット一覧画面を表示します。不在着信があるときは、不在着信画面を表示します。
7	 Menu キー	待受画面で機能メニューを表示します。また、長押しすると設定画面を表示できます。 「一斉呼出」「強制一斉呼出」「グループ呼出」「強制グループ呼出」での通話時に、その通話から抜けることができます。(→P.57)
8	 クリアキー	入力した文字や数字を消去します。
9	 IP 無線アプリ キー	「デフォルト呼出表示設定」で設定されたモードを表示します。(→P.89)

	キー	説明
10	 ホームキー	ホーム画面を表示します。(→P.34)
11	 戻る / Mode キー	呼出モード（通話モード）を切り替えます。 メニュー選択などの操作時に押すと、1つ前の画面に戻ります。発信側の場合は、通話を終了できます。 個別通話中の場合は、着信側で「終話設定」(→P.85)を「発信側、着信側から終話可能」に設定していると着信側から通話を終了できます。 「個別切替設定」を「利用する (Mode キー)」または「利用する (Mode キーまたは PTT スイッチ)」に設定している場合は、「個別呼出」「指令局呼出」以外の着信に応答してから、発信者との個別通話に切り替えることができます。(→P.57)
12	 スピーカーキー	長押しするとマナーモードを切り替えます。
13	 電源キー	長押しすると電源 ON / 電源 OFF します。(→P.14) 電源が入っているときに押すと画面の表示 / 非表示を切り替えます。(→P.16)

	キー	説明
14	テンキー	数字や文字を入力します。 待受画面で数字キーを長押しすると、登録されているショートカットが起動します。 各メニュー画面で数字キーを押すと、指定の画面に移動します。 番号帳画面で指定のタブに移動します。 待受画面で[*]を長押しすると背面フラッシュが点灯します。 待受画面で[#]を長押しするとシンプルモード（強）／通常モードを切り替えます。
15	 カメラキー	IP 無線アプリのカメラを起動します。（→ P.77）

無線機情報について

自分の無線機情報を確認する

本アプリで通話やメッセージを送信する場合は、電話番号の代わりに無線機に割り当てられた番号を入力します。個別呼出に使用する自分の無線機個別番号などの情報を確認するときは、次の操作手順を行います。

1 待受画面で  を長押し → 「接続設定」 →

「無線機情報（接続設定）」

無線機情報が表示されます。



通話／接続の設定をする

通話機能を利用する前に、「接続設定」(→P.85)は必ず行い、その他の設定については必要に応じて設定してください。

呼び出して通話する

呼出モードについて

本アプリの呼出モード(通話モード)は次のとおりです。

項目	画面表示	説明
一斉呼出	一斉	相手の番号を指定せず、着信可能なIP無線機に対して一斉発信します。
強制一斉呼出	強制一斉	相手の番号を指定せず、着信可能なIP無線機に対して一斉発信します。相手が通話中でも、強制的に割り込んで呼び出します。
グループ呼出	G	グループ番号を指定し、複数の相手に発信します。発信相手には指令局も含まれます。
強制グループ呼出	強制G	グループ番号を指定し、複数の相手に発信します。相手が通話中でも、強制的に割り込んで呼び出します。発信相手には指令局も含まれます。

項目	画面表示	説明
個別呼出	個別	相手の番号を指定し、発信します。
指令局呼出	指令局	指令局の番号を指定し、発信します。
地域呼出 ^{※1}	地域	地域番号を指定し、その地域にあるIP無線機に対して発信します。発信相手には指令局も含まれます。位置情報機能を有効に設定している場合に利用できます。
近隣呼出 ^{※1}	近隣	本機の周辺にあるIP無線機に対して発信します。発信相手には指令局も含まれます。位置情報機能を有効に設定している場合に利用できます。

※1 オプションサービスに加入する必要があります。

- 「呼出モード設定」(→P.88)で選択している呼出モード(通話モード)のみ利用できます。

通知音について

本アプリでは、通話時や操作時に以下のような通知音が鳴ります。

通知音	状態	説明
ブッ	PTT スイッチ押下、 発話開始	通話時の PTT スイッチ音
ブッ	指令局呼出發信	指令局呼出の開始
ピロッ	個別呼出發信	個別呼出の開始
ピー	一斉、強制一斉呼出發信	一斉、強制一斉呼出の開始
ピロピロッ	グループ、強制グループ呼出發信	グループ、強制グループ呼出の開始
ピ・ロ	地域呼出發信 ※1	地域呼出の開始
ピロピ	近隣呼出發信 ※1	近隣呼出の開始
プププ	グループ、強制グループ、個別、指令局、地域、近隣呼出（RBT 有）着信	グループ、強制グループ、個別、指令局、地域、近隣呼出（RBT 有）の着信
プー	一斉、強制一斉呼出（RBT 有）着信	一斉、強制一斉呼出（RBT 有）の着信
ピピ	呼出着信	呼出の着信
	接続完了	PTT スイッチが押され、接続を完了
プブ	連続通話タイムアウト機能予鈴	連続通話タイムアウトまで残り 10 秒

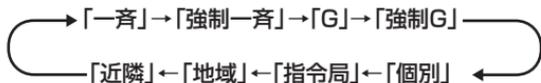
通知音	状態	説明
プー	連続通話タイムアウト動作時	連続通話タイムアウトが動作して通話が終了
プー	終話 ※2	終話
ププー	発信失敗	呼出先通話中などによる発信失敗
プーッ プーッ	不在着信通知	着信を受けて通話を開始しなかったときの通知
ピーポー ピーポー ピーポー	メッセージ受信	メッセージ受信
ファーン ファーン ファーン	非常メッセージ受信、RED ALERT 鳴動 ※2	非常メッセージ受信、RED ALERT 鳴動
カチャ	「シンプルモード（強）」適用	〔# 0〕により「シンプルモード（強）」を適用

※1 オプションサービスに加入する必要があります。

※2 終話音や RED ALERT 音の鳴動はあり/なしを設定できません。

1 待受画面で Mode

-  Mode を押すたびに、呼出モード（通話モード）が次の順で切り替わります（「呼出モード設定」で選択している呼出モード（通話モード）のみ表示されます）。



- 「一斉」「強制一斉」「近隣」を選択した場合は、手順3に進みます。



2 番号を入力

- 「グループ呼出」「強制グループ呼出」の場合は3桁の番号（001～200）、「個別呼出」の場合は4桁の番号（0001～9999）、「指令局呼出」の場合は2桁の番号（01～15）、「地域呼出」の場合は2桁の番号（01～08）を入力します。

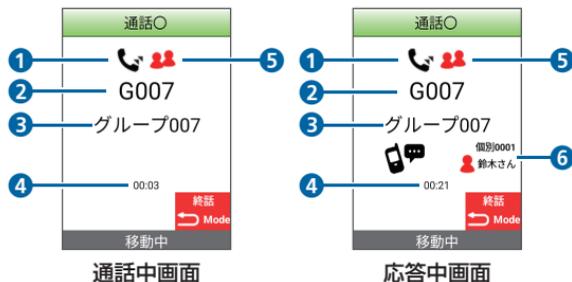


3 PTTスイッチを押す

接続が完了すると、通話中画面が表示されます。相手が応答（音声を送信）している間は応答中画面が表示されます。

- 「RBT利用設定」(→P.86)を「発信時選択」に設定している場合は、確認画面が表示されます。RBT機能を利用する場合は「RBT呼出」を、利用しない場合は「通常呼出」を選択してください。
- 接続に失敗した場合は、待受画面に戻り、「通話×」と失敗した理由が通話状態表示部に表示されます。
「呼出先通話中」：相手が通話中のとき
「利用できない呼出モードです」：利用できない呼出モード（通話モード）で発信したとき
「呼出先誤り」：相手の番号が正しくないとき
「接続失敗」：7秒（RBT機能利用時は17秒）経過しても相手が応答しないとき

通話中または応答中は次のように画面表示されます。



	項目	説明
1	発信アイコン	☎：RBT 機能を利用していない発信 ☎：RBT 機能を利用した発信
2	呼出モード (通話モード)	「一斉呼出」「強制一斉呼出」「近隣呼出」以外は、右側に番号が表示されます。
3	番号帳名称	番号帳に登録されている場合は、登録されている名称が表示されます。番号帳に登録されていない場合、名称は表示されません。名称が長い場合は省略文字(…)で表示されます。
4	通話時間	「通話時間表示設定」(→ P.92)で設定した内容が表示されます。
5	呼出モード (通話モード) アイコン	番号帳に登録されている場合は、登録されているカテゴリの色で表示されます。
6	通話者情報	「個別呼出」「指令局呼出」以外は、応答している相手の情報が表示されます。名称が長い場合は省略文字(…)で表示されます。

■ 音声を送信（発話）する場合

PTTスイッチを押しながら話します。PTTスイッチを押し続けている間、音声を送信されます。

- 通話中画面が表示されていることを確認してからPTTスイッチを押して、話し始めてください。
- PTTスイッチを押してから間を空けずに話し始めると、通話の頭が途切れることがあります。このような場合は、PTTスイッチを押して、一呼吸おいてから話し始めてください。

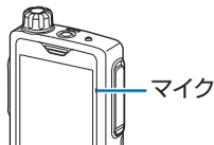


4 通話を終了する場合は (終話)

お知らせ

- マイクは右図の場所にありますので、通話のときはマイクに向かってお話しください。また、マイクと口元を約5cm離し、ふだん会話する大きさの声で通話してください。

マイクに口を近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、かえって通話相手に聞こえにくくなりますのでご注意ください。



- 通話中は、本機を耳に押し当てて使用しないようにしてください。大きな音が鳴った場合に、耳を傷める原因となります。
- 通話時間は送信と受信あわせて最大5分です。5分を経過すると、自動的に切断され、待受画面に戻ります。切断される約10秒前に通知音でお知らせします。
- 無通話状態が続いた場合、「無通話タイムアウト設定」(→P.85)で設定した時間が経過すると、自動的に切断されます。
- RBT機能(→P.86)を利用して発信した場合、相手が応答しないまま約17秒が経過すると、発信は切断されます。
- 終話操作後、他の画面に切り替わる際に2秒～3秒かかることがあります。
- 「通話時間表示設定」(→P.92)で通話中画面に通話時間を表示するかどうかを設定できます。表示される通話時間は目安となりますのでご注意ください。
- 「圏外時、切断ON/OFF設定」(→P.92)の設定によっては、通話中に電波状態が悪くなったとき、通話が切断される場合があります。
- 相手が着信する前に発信を切断した場合も、発信履歴が残ります。また、相手の着信履歴にも残ることがあります。
- 「未所属グループ 発信抑止設定」(→P.94)で本機が登録されていないグループへ発信できないように設定できます。
- ロック画面表示中は発信することができません。

！ 注意

- 接続から発話までPTTスイッチを押し続けた場合、「ピピ」という接続完了音の後に「ブッ」という発話開始音が鳴ってからマイクアイコンが表示され、音声を送信できるようになります。

通話履歴から呼び出す

通話履歴については、「通話履歴を確認する」(→P.54)をご覧ください。

1 待受画面で◀(着信履歴)または▶(発信履歴)

着信履歴/発信履歴が表示されます。



2 発信する履歴を選択→PTTスイッチを押す

- 履歴にカーソルを合わせて[OK](決定) →待受画面でPTTスイッチを押しても発信できます。

お知らせ

- RBT機能を利用した着信履歴や発信履歴から発信する場合でも、「RBT利用設定」(→P.86)の設定が優先されます。

番号帳から呼び出す

番号帳については、「番号帳を利用する」(→P.59)をご覧ください。

1 待受画面で▼

番号帳が表示されます。



2 発信する相手を選択→PTTスイッチを押す

- 相手にカーソルを合わせて[OK](決定) →待受画面でPTTスイッチを押しても発信できます。

ショートカットから呼び出す

ショートカットについては、「ショートカットを利用する」(→P.62)をご覧ください。

1 待受画面で「0」～「9」(発信するショートカットの番号)を長押し→PTTスイッチを押す

- 待受画面で[OK](決定) →発信するショートカットを選択→PTTスイッチを押しても、発信できます。

バックグラウンド時に呼び出す

本アプリの画面が表示されていないときでも発信、発話や待受画面を表示することができます。

1 本アプリの画面が表示されていないときにPTTスイッチを押す

待受画面に切り替わり、直前に表示していた呼出先が表示されます。

- 「PTTスイッチ設定」(→P.92)を「発信・発話」に設定している場合は、手順2に進みます。

2 PTTスイッチを押す

画面に表示されている呼出先に発信します。

- 「呼び出して通話する」(→P.49)の手順3以降と同じ手順で通話ができます。

多機能ノブを利用する

多機能ノブを利用して、発信先を呼び出すことができます。

- シンプルモード(強)に設定されている場合は、多機能ノブは利用できません。

呼出モードを指定して番号帳から呼び出す

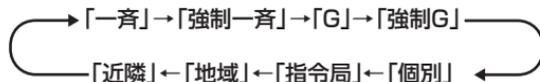
- 「多機能ノブ利用設定」(→P.92)が「利用する(呼出モード切替)」に設定されている必要があります。

1 待受画面で多機能ノブを回す

呼出モードが切り替わります。



- 多機能ノブを時計回りに回すと、呼出モードが次の順で切り替わります(「呼出モード設定」で選択しているモードのみ表示されます)。反時計回りに回すと逆の順で切り替わります。

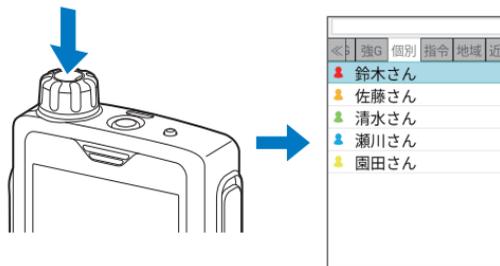


- 多機能ノブを回すと効果音が鳴り、呼出モードが音声でアナウンスされます。

2 多機能ノブを押す

選択した呼出モードの番号帳タブ画面が表示されます。

- カーソルの位置にある番号帳の番号（グループ、個別、指令、地域）が音声でアナウンスされます。



3 多機能ノブを回して発信先を選択

- 多機能ノブを時計回りに回すと、カーソルが上に移動します。反時計回りに回すと下に移動します。
- 多機能ノブを回すと効果音が鳴り、番号（グループ、個別、指令、地域）が音声でアナウンスされます。

4 多機能ノブを押す

発信先が決定されます。

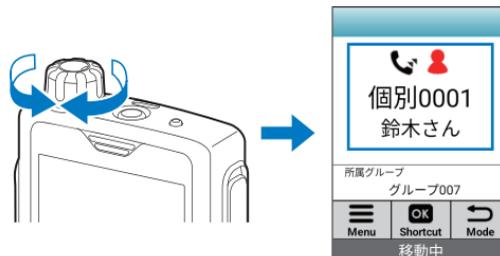
- 「決定しました」の音声のアナウンスされます。

待受画面で番号帳から呼び出す

- 「多機能ノブ利用設定」(→P.92) が「利用する(番号帳選択)」に設定されている必要があります。

1 待受画面で多機能ノブを回す

番号帳の「登録順」タブ内の発信先が表示されます。



- 多機能ノブを時計回りに回すと次の発信先、反時計回りに回すと前の発信先に切り替わります。
- 多機能ノブを回すと効果音が鳴り、呼出モードと番号（グループ、個別、指令、地域）が音声でアナウンスされます。

2 多機能ノブを押す

発信先が決定されます。

- 「決定しました」の音声のアナウンスされます。

通話履歴を確認する

本アプリに保存される着信履歴／発信履歴は、それぞれ最大100件です。

1 待受画面で ◀ (着信履歴) または ▶ (発信履歴)

- 待受画面で [Menu] → 「着信履歴」を選択しても、通話履歴を確認できます。



着信履歴画面



発信履歴画面

項目	説明
1 着信日時／ 発信日時	着信日時／発信日時が表示されます。
2 着信アイコン	: RBT 機能を利用していない着信 : RBT 機能を利用した着信 : RBT 機能を利用していない着信 (不在着信) : RBT 機能を利用した着信 (不在着信)

項目	説明
3 発信元情報	呼出モード（通話モード）と番号が表示されます。 番号帳に登録されている場合は、登録されている名称が表示されます。 「個別呼出」「指令局呼出」以外は、右側に発信元の種別（「個別」または「指令局」）と番号が表示されます。 名称が長い場合は省略文字（…）で表示されます。
4 発信アイコン	: RBT 機能を利用していない発信 : RBT 機能を利用した発信 接続に失敗した発信は、アイコンに が付きます。
5 発信先情報	呼出モード（通話モード）と番号が表示されます。 番号帳に登録されている場合は、登録されている名称が表示されます。 名称が長い場合は省略文字（…）で表示されます。

📢 お知らせ

- 着信履歴画面／発信履歴画面で履歴を選択すると、待受画面に選択した履歴の呼出モード（通話モード）と番号が表示され、PTTスイッチを押すと発信できます。

発信履歴画面／着信履歴画面で使用できる機能

発信履歴画面／着信履歴画面で(☰Menu)を押すと、次の機能を使用できます。

項目	説明	
メッセージ作成 ※1	選択した履歴の呼出モード（通話モード）が「個別」の場合、メッセージを作成します。	
削除 ※2	1件削除	履歴を1件削除します。
	選択削除	履歴を複数選択して削除します。
	全件削除	履歴を全件削除します。
ショートカット登録 ※3	選択した履歴をショートカットに登録します。	

※1「メッセージ送信設定」(→P.88)にチェックを入れている場合のみ、操作できます。

※2「発信履歴 削除機能設定」(→P.88)を「利用する(削除可)」に設定している場合のみ、操作できます。なお、一度削除された通話履歴は元に戻すことはできません。

※3「ショートカット機能設定」(→P.88)を「利用する(編集可)」に設定している場合のみ、操作できます。

着信に应答して通話する

ここでは、RBT機能(→P.86)を利用した着信の場合を例に説明します。RBT機能を利用していない着信の場合は、本機が自動応答し、手順2の画面が表示されます。

1 着信を受ける



着信中画面

- 「個別呼出」「指令局呼出」「グループ呼出」「地域呼出」「近隣呼出」の場合はプブ、「一斉呼出」の場合はプーという通知音が鳴ります。

2 PTTスイッチを押す



通話中画面

- 「個別呼出」「指令局呼出」以外の場合は、着信したいすれかのIP無線機が応答操作を行い、音声を送信すると通話中画面に切り替わります。
- PTTスイッチを押し続けることで手順3に進みます。

3 PTTスイッチを押しながら話す



PTTスイッチを押し続けている間、音声を送信されません。

- PTTスイッチを押してから間を空けずに話し始めると、通話の頭が途切れることがあります。このような場合はPTTスイッチを押して、一呼吸おいてから話し始めてください。

お知らせ

- 音声着信が可能な状態で、本機操作中に音声着信があると、操作は中断され着信状態となります。
- 画面ロック中でも着信があると、着信状態となります。
- 通話時間は送信と受信あわせて最大5分です。5分を経過すると、自動的に切断され、待受画面に戻ります。切断される約10秒前に通知音でお知らせします。
- 「終話設定」(→P.85)を「発信側、着信側から終話可能」に設定している場合は、 (終話)を押すと通話を終了できます。ただし、個別通話中のみ有効です。

着信を個別通話に切り替える

「個別呼出」「指令局呼出」以外の着信の場合、応答後に発信者との個別通話に切り替えることができます。

- 「個別切替設定」(→P.85)を「利用する (Modeキー)」または「利用する (ModeキーまたはPTTスイッチ)」に設定する必要があります。

1 通話中画面で (個別切替) または PTT スイッチを押す



発信者との個別通話に切り替わります。通話時間はリセットされ、再びカウントが始まります。

通話から抜ける

「一斉呼出」「強制一斉呼出」「グループ呼出」「強制グループ呼出」での通話時に、その通話から抜けることができます。

- 「通話離脱設定」(→P.86)を「常時利用 (常に離脱可)」または「強制以外利用 (強制通話は離脱不可)」に設定する必要があります。

1 通話中画面で (離脱)



お知らせ

- 発信者も通話から抜けることができます。その場合は、着信側で「通話離脱設定」を「利用しない (離脱不可)」に設定していると、終話操作ができないため、通話時間が5分を経過するか「無通話タイムアウト設定」(→P.85)で設定した時間だけ無通話状態が続いたときに通話が終了します。

不在着信を確認する

着信に回答しない（PTTスイッチを押さない）まま着信／通話が切断された場合、通知バーにアイコンが表示され、通知音が鳴り（バックライト消灯時にはLEDも緑点滅）、着信があったことをお知らせします（不在着信通知）。不在着信があったときは、待受画面ではなく不在着信画面が表示されます。

- 「不在着信通知設定」（→P.85）を「指令局からの個別着信で利用」または「指令局・移動局からの個別着信で利用」に設定する必要があります。
- 「個別呼出」「指令局呼出」以外の着信は、不在着信として通知されません。

1 確認する不在着信を選択



2 [Menu] → 「1件確認」

選択した不在着信が確認済みとなり、不在着信画面から削除されます。

- すべての不在着信を確認済みにするには、「全件確認」を選択します。

■ 不在着信の相手に発信する場合

不在着信を選択してからPTTスイッチを押します。

👉 お知らせ

- すべての不在着信を確認するか発信するまで、不在着信画面、通知バーのアイコンが表示されます。待受画面を表示するには、不在着信画面で [Mode] を押します。
- 不在着信がある場合は、番号帳画面でデータを選択するか、番号帳詳細表示画面で [OK] を押しても、待受画面ではなく不在着信画面が表示されるため発信できません。不在着信がある場合の番号帳からの発信は、「番号帳から呼び出す」（→P.51）をご覧ください。
- 不在着信の通知音は、本アプリが表示されているときに、[Menu]、[Power]、[PTT]、[Home]、[Camera]、音量キー（▲/▼）以外のいずれかのキーを押すと止めることができます。また、スリープモードや画面ロック中は、ロックを解除してから本アプリを表示して同様の操作を行い止めることができます。

バックグラウンド時の着信に応答する

本アプリ以外を使用しているときでも着信に応答することができます。

- RBT機能を利用した着信の場合は、着信中画面に切り替わり、「着信に応答して通話する」（→P.55）と同じ手順で通話ができます。ここでは、RBT機能を利用していない着信の場合を説明します。

1 バックグラウンド時に着信

自動応答し、受話音声が出力されます。

- 着信中画面には切り替わりません。

2 PTTスイッチを押す

通話中画面に切り替わります。

- 「PTTスイッチ設定」(→P.92)を「発信・発話」に設定している場合は、PTTスイッチを押し続けると手順3に進みます。

3 PTTスイッチを押しながら話す

PTTスイッチを押し続けている間、音声が発信されません。

4 (終話)

通話を終了します。

- 「終話時表示機能設定」(→P.92)を「利用しない」に設定している場合は、着信前の画面に戻ります。

お知らせ

- 通話時、本アプリ以外の音(時計やカレンダーのアラーム音など)は小さくなり、通話終了後に設定した音量で鳴動します。
- 通話時、本アプリ以外の音(時計やカレンダーのアラーム音など)が鳴動中にPTTスイッチを押し続けるとアラーム音なども送信されますので、アラームを消してから通話してください。

番号帳を利用する

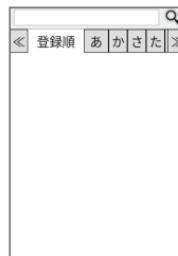
「番号帳機能設定」(→P.88)を「利用する(編集可)」に設定している場合のみ、番号帳を登録/編集/削除できます。

番号帳に登録する

番号帳に登録できるデータは最大1,000件です。

1 待受画面で

番号帳画面が表示されます。



2 → 「新規登録」



3 各項目を入力→「登録」

番号帳を確認／編集する

1 待受画面で▼

待受画面に表示されている呼出モードの番号帳タブに遷移します。

◀▶: タブを左右に移動します。

テンキー: 該当のタブ (※^{英語}は英、#^他は他) に移動します。

番号帳画面

- 待受画面で → 「番号帳」を選択しても、番号帳画面が表示されます。
- から番号帳に遷移した場合は、登録順タブが表示されます。

2 検索窓でデータを検索

- 検索範囲は、選択している番号帳タブ内のデータが対象となります。
- 入力された文字列が、「名称」、「ふりがな」、「各呼び出しモードの番号」のいずれかに該当すれば、検索結果として表示されます。

3 確認／編集するデータを選択 → [Menu] → 「表示」



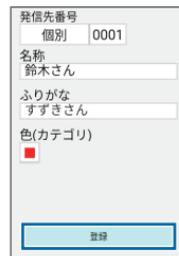
番号帳画面上部の検索欄を選択して文字を入力すると、データを検索することができます。

4 [Menu] → 「編集」



編集画面が表示されます。

5 「登録」



編集した内容で上書き登録されます。

👉 お知らせ

- 番号帳画面でデータを選択するか、番号帳詳細表示画面で [OK] (決定) を押すと、待受画面に選択したデータの呼出モード (通話モード) と番号、名称が表示され、PTTスイッチを押すと発信できます。ただし、不在着信がある場合は待受画面ではなく不在着信画面が表示されるため、本操作はできません。不在着信がある場合の番号帳からの発信は、「番号帳から呼び出す」(→P.51) をご覧ください。

番号帳画面で使用できる機能

番号帳画面で **Menu** を押すと、次の機能を使用できます。

項目	説明	
表示	「番号帳を確認／編集する」(→ P.60)	
新規登録 ※1	「番号帳に登録する」(→ P.59)	
編集 ※1	「番号帳を確認／編集する」(→ P.60)	
メッセージ作成 ※2	選択した番号帳データの呼出モード(通話モード)が「個別」の場合、メッセージを作成します。	
削除 ※1	1件削除	番号帳データを1件削除します。
	選択削除	番号帳データを複数選択して削除します。
	全件削除	番号帳データを全件削除します。
ショートカット登録 ※3	選択した番号帳データをショートカットに登録します。	
カテゴリ名称編集 ※4	番号帳のカテゴリの色と名称を編集します。	

- ※1 「番号帳機能設定」(→P.88)を「利用する(編集可)」に設定している場合のみ、操作できます。
- ※2 「メッセージ送信設定」(→P.88)にチェックを入れている場合のみ、操作できます。
- ※3 「ショートカット機能設定」(→P.88)を「利用する(編集可)」に設定している場合のみ、操作できます。
- ※4 「カテゴリ名称機能設定」(→ P.88)を「利用する(編集可)」に設定している場合のみ、操作できます。

ショートカットを利用する

通話相手や機能メニュー、設定項目をショートカットに登録することで、待受画面から簡単に呼び出すことができます。

- 「ショートカット機能設定」(→P.88)を「利用する(編集可)」に設定している場合のみ、ショートカットを登録／削除できます。

ショートカットを登録する

1 待受画面で **OK** (決定)

ショートカット一覧画面が表示されます。



- 待受画面で **Menu** → 「ショートカット一覧」を選択しても、ショートカット一覧画面が表示されます。

2 項目を選択

項目	説明
番号帳登録	ショートカットに登録する相手を番号帳から選択します。
発信先登録	ショートカットに登録する相手を入力します。
機能項目登録 ※1	ショートカットに登録する機能項目を選択します。
設定項目登録 ※1	ショートカットに登録する設定項目を選択します。

※1 設定画面と異なり番号が黄色・黒字で表示されます。

3 「発信先登録」選択時：各項目を入力→「登録」 他の項目を選択時：ショートカットに登録したい項目を選択

お知らせ

- 通話履歴からもショートカットを登録できます。(→P.55)

ショートカット一覧画面で使用できる機能

ショートカット一覧画面でを押すと、次の機能を使用できます。

項目		説明
番号帳登録		「ショートカット機能設定」(→P.88)
発信先登録		
機能項目登録		
設定項目登録		
削除	1件削除	ショートカットを1件削除します。
	選択削除	ショートカットを複数選択して削除します。
	全件削除	ショートカットを全件削除します。

グループに登録する

グループの確認や登録については、「グループを管理する」(→P.93)をご覧ください。

通話を録音する

着信応答した通話は、自動的に録音されます。本アプリに保存される録音データは、最大50件です。

- 録音されるのは、相手の音声のみです。「録音機能設定」(→P.88)を「利用しない」以外に設定している場合のみ、録音できます。

録音した通話を再生する

1 待受画面で☰Menu→「録音再生」

録音一覧画面が表示されます。

録音一覧	
2025/09/09 00:45	個別0003
2025/09/09 00:32	指令音03
2025/09/09 00:49	G007
2025/09/09 00:03	指令音03
2025/09/09 00:03	G007
2025/09/09 00:03	個別0004

2 再生する録音データを選択

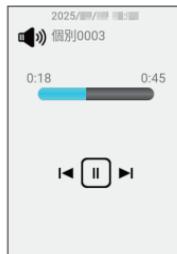
録音データの再生が開始されます。

- 再生中は次の操作ができます。

OK(決定) (⏸) : 一時停止

◀(◀) : 4秒巻き戻し

▶(▶) : 4秒早送り



録音一覧画面で使用できる機能

録音一覧画面で $\left[\equiv \text{Menu} \right]$ を押すと、次の機能を使用できます。

項目		説明
保護	1件保護／保護解除	録音データを1件保護／保護解除します。
	選択保護	録音データを複数選択して保護します。
削除※1	1件削除	録音データを1件削除します。
	選択削除	録音データを複数選択して削除します。
	全件削除	録音データを全件削除します。

※1「録音機能設定」(→P.88)を「利用する(データ削除可)」に設定している場合のみ、操作できます。なお、一度削除された録音データは元に戻すことはできません。

非常送信機能 (RED ALERT) を使用する

非常時、サーバーに通知を行うことができます。通知を行った場合、位置情報サービスにて指令局または指定した移動局で本機の音声のモニタリングができるようになります。

- RED ALERT機能を利用するには、「RED ALERT機能設定」(→P.88)の「RED ALERT利用設定」にチェックを入れる必要があります。

RED ALERTを起動する

1 非常スイッチを長押し

通知バーに $\left[\star \right]$ が表示されます。また、通話状態表示部にも「★」が表示されます。



お知らせ

- 非常スイッチを長押ししてRED ALERTを起動するまでの秒数は、「RED ALERT切替時間設定」(→P.91)で設定できます
- ロック画面表示中でもRED ALERTを起動できます。
- 音声をモニタリングされている端末で  を押すか、5分を経過すると音声のモニタリングは終了します。また、「終話設定」(→P.85)を「発信側、着信側から終話可能」に設定しているとモニタリングを行っている側で終了操作ができません。

RED ALERTを解除する

1 RED ALERT中に非常スイッチを長押し

RED ALERTが解除され、通知バーの 、通話状態表示部の「★」が表示されなくなります。

- 「RED ALERTのロック設定」(→P.91)を「パスコード」または「パスワード」に設定している場合、非常スイッチを長押し→パスコードまたはパスワードを入力→「OK」を選択します。パスコード、パスワードを忘れた場合は、RED ALERTを解除できず本アプリが使用できなくなるため、忘れないようにしてください。忘れた場合には本アプリを初期化する必要がありますので販売代理店へお問い合わせください。

お知らせ

- 非常時以外の場合は、必ず解除操作を行ってください。
- 「RED ALERTのロック設定」(→P.91)を「なし」に設定している場合は、電源を切ってもRED ALERTを解除できません。
- ロック画面表示中でもRED ALERTを解除できます。ただし、パスコードまたはパスワードを設定している場合は、画面ロック解除後にRED ALERTを解除してください。
- 指令局はRED ALERTを使用できません。

状態表示機能を使用する

位置情報サービスに状態を通知することができます。待受画面には、本機のユーザーの現在の状態を表示する状態表示部 **①** があります。

状態表示部の状態は変更できます。状態が変更されるたびにサーバーに通知されます。

- サーバーに通知された状態を確認するには、オプションサービスに加入する必要があります。



状態表示を変更する

1 待受画面で

- 待受画面で  → 「状態変更」を選択しても、状態表示変更画面が表示されます。

2 状態を選択



状態表示が変更されます。

位置情報機能を使用する

GPS機能を使用して現在地を測位できます。また、一定時間が経過するたびに、または一定距離を移動するたびに、取得した位置情報をサーバーに通知できます。

- サーバーに通知された位置情報を確認するには、オプションサービスに加入する必要があります。
- ビルの谷間や山間部、屋内などGPS衛星からの電波を受信しにくい場所では、測位に数分かかるか、測位ができないことがあります。
- 指令局は位置情報機能を利用できません。
- 位置情報機能の設定については、「位置情報機能を設定する」(→P.86)をご覧ください。

メッセージ機能を使用する

メッセージ機能を利用する前に、「機能設定」の「メッセージ機能設定」(→P.88)でメッセージに関する設定を行ってください。

お知らせ

- 指令局ではメッセージを送受信できません。

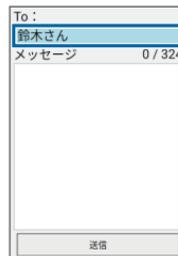
メッセージを新規作成／送信する

個別番号を送信先として全角162文字（半角324文字）までのメッセージを送信できます。

1 待受画面で → 「メッセージ作成」



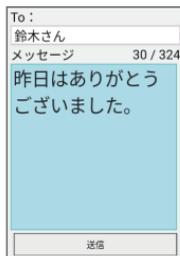
2 To欄を選択 → 「番号帳」 → 送信する相手を選択



■ 個別番号を入力する場合

To欄を選択 → 「個別番号入力」 → 番号入力欄を選択 → 相手の番号を入力 → 「登録」

3 メッセージ欄を選択→本文を入力→



- メッセージ欄を選択した状態で **OK** (決定) を押すと改行することができます。

4 「送信」

メッセージが送信されます。

お知らせ

- 30秒以内に同じ内容のメッセージを連続して送信すると、1件目のメッセージしか送信されない場合があります。
- 通話履歴や番号帳からもメッセージを作成できます。(→ P.55、P.62)

■ メッセージ作成画面で使用できる機能

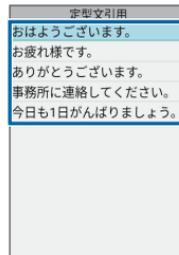
メッセージ作成画面で  を押すと、次の機能を使用できます。

項目	説明
送信先 (番号帳)	送信する相手を番号帳から選択します。
送信先 (個別番号入力)	送信する相手の個別番号を入力します。
定型文引用	「定型文を利用する」(→ P.69)
送信	メッセージを送信します。

■ 定型文を利用する

本文に定型文を入力します。定型文は冒頭に入力されず。

1 メッセージ作成画面で → 「定型文引用」 → 定型文を選択

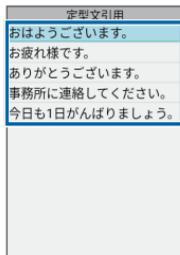


定型文引用画面

■ 定型文を編集する

定型文を編集するには、「定型文編集機能設定」(→ P.88) にチェックを入れる必要があります。

1 メッセージ作成画面で → 「定型文引用」 → 編集する定型文を選択



2 → 「編集」 → 定型文編集欄を選択 → 定型文を編集 → → 「登録」

■ 定型文を追加する場合

 → 「新規」 → 定型文編集欄を選択 → 定型文を入力 →  → 「登録」

■ 定型文引用画面で使用できる機能

定型文引用画面で  を押すと、次の機能を使用できます。

項目	説明	
新規	定型文を追加します。	
編集	定型文を編集します。	
削除	1件削除	定型文を1件削除します。
	全件削除	定型文を全件削除します。
上に移動	定型文を上に移動します。	
下に移動	定型文を下に移動します。	

受信したメッセージを確認する

メッセージを受信すると、通知バーにが表示され、通知音が鳴ります。バックライト消灯時は、LEDが黄点滅しします。

1 待受画面で → 「送受信メッセージ」

1	番号帳
2	発着信履歴
3	録音再生
4	状態変更
5	メッセージ作成
6	送受信メッセージ
7	ショートカット一覧
8	IP無線カメラ起動
9	
0	設定

2 メッセージを選択

受信メッセージ	送信メッセージ
2025/09/25 17:31 鈴木さん お仕事お疲れ様です。	
2025/09/25 鈴木さん 昨日はありがとうございました	
2025/09/25 鈴木さん 来週です。	

メッセージの内容が表示されます。

お知らせ

- 受信メッセージ一覧画面のすべての未読メッセージを確認するが削除すると、通知バーからが消えます。
- 不在着信の通知音が鳴っているときにメッセージを受信した場合は、メッセージ受信の通知音は鳴りません。
- メッセージ受信の通知音は、本アプリが表示されているときにを押すと止めることができます。また、スリープモードや画面ロック中は、ロックを解除してから本アプリを表示して同様の操作を行い止めることができます。

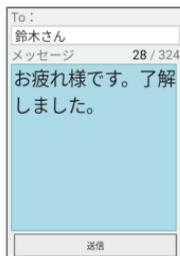
メッセージを返信／転送する

1 待受画面で → 「送受信メッセージ」 → メッセージを選択

メッセージの内容が表示されます。

前のメッセージ	次のメッセージ
日時：2025/09/25 17:31	
From：ID00013	番号0004
メッセージ	
お仕事お疲れ様です。 引き続きよろしくお願いたします。	

2 → 「返信」または「転送」 →メッセージを作成



3 「送信」

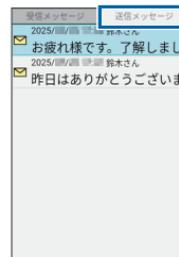
メッセージが送信されます。

お知らせ

- 位置情報サービスからのメッセージには返信できません。

送信したメッセージを確認する

1 待受画面で → 「受信メッセージ」 → で「送信メッセージ」



送信メッセージ一覧画面

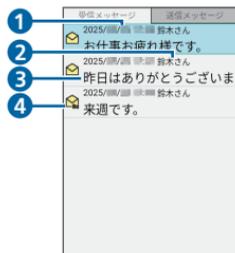
2 メッセージを選択

送信したメッセージの内容が表示されます。

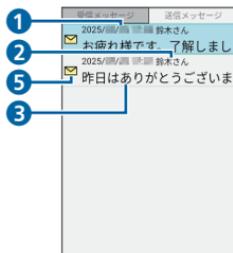
メッセージ一覧画面について

本アプリで保存される受信メッセージ／送信メッセージは、それぞれ最大500件です。

- 最大件数保存されているときに、メッセージを受信／送信すると、未開封のものも含め古いもの（保護したメッセージを除く）から削除されます。



受信メッセージ一覧画面



送信メッセージ一覧画面

	項目	説明
①	受信日時／送信日時	受信日時／送信日時が表示されます。
②	送信元／送信先	個別番号が表示されます。番号帳に登録されている場合は、登録されている名称が表示されます。名称が長い場合は省略文字(…)で表示されます。
③	本文	本文が表示されます。

	項目	説明
④	受信アイコン	<ul style="list-style-type: none"> ✉：未読メッセージ ✉：既読メッセージ ✉：返信したメッセージ ✉：転送したメッセージ 保護したメッセージは、アイコンに🔒が付きます。
⑤	送信アイコン	保護したメッセージは、アイコンに🔒が付きます。 送信に失敗したメッセージは、アイコンに❌が付きます。

メッセージ一覧画面で使用できる機能

メッセージ一覧画面で(☰Menu)を押すと、次の機能を使用できます。

項目		説明
新規作成		メッセージを作成します。
返信 ※1		「メッセージを返信／転送する」(→ P.71)
転送 ※1		「メッセージを返信／転送する」(→ P.71)
再編集 ※2		メッセージを編集します。
保護	1件保護／保護解除	メッセージを1件保護／保護解除します。
	選択保護	メッセージを複数選択して保護します。

項目	説明	
削除 ※3	1 件削除	メッセージを 1 件削除します。
	選択削除	メッセージを複数選択して削除します。
	全件削除	メッセージを全件削除します。

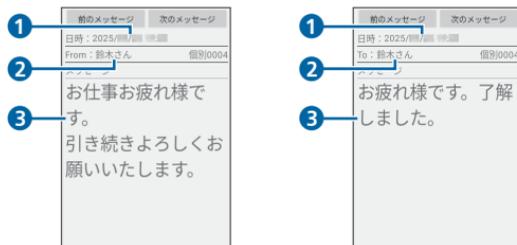
※1 受信メッセージ一覧画面でのみ表示されます。

※2 送信メッセージ一覧画面でのみ表示されます。

※3 「メッセージ削除機能設定」(→P.88) にチェックを入れている場合のみ、操作できます。なお、一度削除されたメッセージは元に戻すことはできません。

メッセージ詳細表示画面について

1 受信メッセージ一覧画面または送信メッセージ一覧画面でメッセージを選択



受信メッセージ詳細表示画面 送信メッセージ詳細表示画面

	項目	説明
①	受信日時／送信日時	受信日時／送信日時が表示されます。
②	送信元／送信先	個別番号が表示されます。番号帳に登録されている場合は、登録されている名称と個別番号が表示されます。名称が長い場合は省略文字(…)で表示されます。
③	本文	本文が表示されます。

■ メッセージ詳細表示画面で利用できる機能

メッセージ詳細表示画面で  を押すと、次の機能を使用できます。

項目	説明
返信 ※1	「メッセージを返信／転送する」(→P.71)
転送 ※1	「メッセージを返信／転送する」(→P.71)
再編集 ※2	メッセージを編集します。
保護／保護解除	メッセージを保護／保護解除します。
削除 ※3	メッセージを削除します。

- ※1 受信メッセージ詳細表示画面でのみ表示されます。
 ※2 送信メッセージ詳細表示画面でのみ表示されます。
 ※3 「メッセージ削除機能設定」(→P.88) にチェックを入れている場合のみ、操作できます。なお、一度削除されたメッセージは元に戻すことはできません。

シンプルモードを利用する

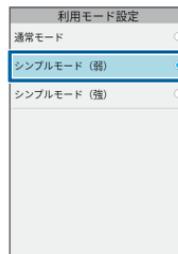
本アプリで、限定的な操作しか実行できないように設定できます。

アプリ設定で利用モードを設定する

1 アプリ設定画面で「利用モード設定」



2 「通常モード」、「シンプルモード(弱)」または「シンプルモード(強)」を選択



項目	説明
通常モード	すべての操作が有効
シンプルモード（弱）	「0」～「9」のキー操作が無効
シンプルモード（強）	▲▼◀▶、テンキー、多機能ノブ、メニュー画面遷移、呼出モード切替、IP 無線カメラの操作が無効

- 「シンプルモード（強）」に設定しようとする時、確認画面が表示されます。内容確認後、設定する場合は「はい」を選択します。設定した場合には販売代理店しか解除できません。
- 本設定画面にて「シンプルモード（強）」に設定した場合、[# 0]を再度長押ししても解除することはできません。

選択したモードの内容で本アプリが動作します。



シンプルモード（弱）
待受画面



シンプルモード（強）
待受画面

- 「シンプルモード（弱／強）」に設定すると、待受画面のデザインが変更されます。
- 「シンプルモード（強）」設定中は、[Mode]での画面移動ができません。設定画面から待受画面に戻る際は、[IP]を押してください。
- 「シンプルモード（強）」では呼出モード切替の操作が無効となり、「待受表示設定」で指定した呼出モードのみ利用できます。
- 「シンプルモード（強）」設定中も、音量調整、不在着信の確認、RED ALERTの起動／解除は可能です。

キー操作によりシンプルモード（強）を設定する

1 待受画面で $\#00$ を長押し

通知バーに $\#00$ 、通話状態表示部に $\#00$ が表示され、「シンプルモード（強）」が適用されます。

- この操作で適用した場合、同じ操作を繰り返すと、「シンプルモード（強）」を解除できます。
- 「シンプルモード（強）」では、 \uparrow \downarrow \leftarrow \rightarrow 、テンキー、多機能ノブ、メニュー画面遷移、呼出モード切替、IP無線カメラの操作が無効になります。



IP無線カメラを使用する

IP無線カメラでは、写真／動画を撮影できます。また撮影した写真／動画を閲覧したり、位置情報サービスや801KW、他のA501SJに送信することができます。

- 本機能をご利用いただくには、お使いのA501SJごとに位置情報サービスをご契約いただく必要があります。

起動

初回の起動時に権限許可の画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

■ IP無線アプリから起動する

1 待受画面で \equiv Menu

2 「IP無線カメラ起動」

1	番号帳
2	発信信履歴
3	録音再生
4	状態変更
5	メッセージ作成
6	送受信メッセージ
7	ショートカット一覧
8	IP無線カメラ起動
9	
0	設定

IP無線アプリの番号帳が本アプリに登録されます。

■ カメラキーで起動する

1 [カメラ]を長押し

- 待受画面以外であっても起動できます。

メインメニュー

メインメニュー画面では、本アプリで利用できる機能が表示されます。本アプリを起動した直後や各メニュー画面で [Menu] を押したときなどに表示されます。



	項目	説明
1	通知バー	[IP] : 未確認ファイルがある場合に表示されます。
2	機能表示部	本アプリの各機能を表示します。 [カメラ] : カメラ撮影 (→ P.78) [アップ] : ファイル送信 (→ P.79) [フォルダ] : ファイル一覧 (→ P.81)

カメラで撮影する

■ 写真／動画を撮影する

写真／動画を撮影します。

1 メインメニューで [カメラ撮影]

2 カメラを被写体に向ける



- [シャッター] をタップすると、動画撮影モードに切り替わります。

3 [OK]

写真が撮影されます。

- 動画の場合は録画が開始されます。再度 [OK] を押すと録画が終了します。
- 音量キー (▲/▼) を押しても撮影できます。
- 動画撮影時は録画終了時の位置情報が保存されます。
- 設定メニューから、タイマーや連続撮影などの設定ができます。

撮影した写真／動画を送信する

撮影した写真／動画を位置情報サービスや他のIP無線機に送信します。

1 メインメニューで **↑** (ファイル送信)

2 写真または動画を選択

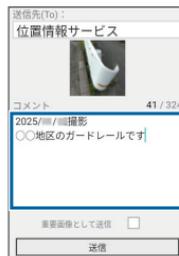


- 動画には **▶** (再生アイコン) が表示されます。

3 送信先 (To) 欄を選択 → 「位置情報サービス」



4 コメント欄を選択 → 文字を入力 → **Mode**



- 初期値として撮影日時が入力されています。コメント欄に入力がない場合は送信できませんのでご注意ください。
- 全角162文字（半角324文字）まで入力できます。
- 一部の記号など、コメント欄に使用できない文字を入力した場合は、通知画面が表示され、入力が中止されます。「OK」を選択すると入力画面に戻ります。
- コメント欄を選択した状態で **OK** を押すと改行することができます。
- コメント欄の先頭で **▲**、最後で **▼** を押しても文字入力が終了します。
- 写真／動画を選択すると、拡大表示／再生できます。動画には **▶** (再生アイコン) が表示されます。
- 「重要画像として送信」にチェックを入れると、位置情報サービスにて重要画像として表示されます。

5 「送信」

写真／動画が送信されます。

！ ご注意

- 撮影時、屋内などで位置情報が取得できなかった場合は、送信時に位置情報が取得されます。送信時も位置情報が取得できない場合、位置情報サービスでは東京駅の緯度経度で表示されますのでご注意ください。
 - 自分の無線機個別番号に送信することはできません。
 - 撮影時間が長い動画の場合や電波状況によっては、送信に時間がかかることがあります。
- ※ **[C]** または **[Mode]** を押すと送信を中止できますが、タイミングによっては画像が送信されている可能性があります。

■ 番号帳から選択する

他のIP無線機に番号帳から送信する場合は、上記の手順3で次のように操作します。

3 送信先 (To) 欄を選択→「番号帳」→送信する相手を選択

- 番号帳はIP無線アプリから編集できます。

- 番号帳には「一斉」「グループ」「個別」のみ登録されます。
- IP無線アプリで番号帳を作成していない場合や、一度もIP無線アプリから本アプリを起動していない場合、番号帳は登録されません。

■ 個別番号を入力する

他のIP無線機に個別番号で送信する場合は、上記の手順3で次のように操作します。

3 送信先 (To) 欄を選択→「個別番号入力」→「一斉」／「G」(グループ)／「個別」→番号入力欄を選択→相手の番号を入力→「登録」

■ ファイル送信機能で利用できる機能

ファイル送信画面で  を押すと、次の機能を使用できます。

- 該当のテンキーを押しても各機能を使用することができます。

項目	説明
送信先（位置情報サービス）	送信する相手に位置情報サービスを選択します。
送信先（番号帳）	送信する相手を番号帳から選択します。
送信先（個別番号入力）	送信する相手の番号を入力します。
送信	ファイルを送信します。送信先を入力した後に選択することができます。

■ ファイル一覧

送受信した写真／動画を確認することができます。

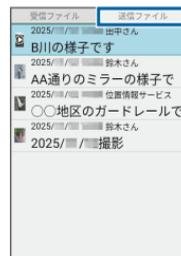
■ ファイル一覧について

本アプリで保存される受信ファイル／送信ファイルはそれぞれ最大300件です。

最大件数保存されているときに、ファイルの受信／送信はできません。不要なファイルを削除して再度操作を実行してください。



受信ファイル一覧画面



送信ファイル一覧画面

	項目	説明
①	受信ファイル／送信ファイル	  を押すと、一覧画面の表示を切り替えることができます。
②	受信日時／送信日時	受信日時／送信日時が表示されます。

	項目	説明
3	送信元／送信先	番号帳に登録されている場合は、登録されている名称が表示されません。名称が長い場合は省略文字（…）で表示されます。
4	コメント	コメント文が表示されます。
5	サムネイル画像	ファイルの縮小画像が表示されません。動画には▶（再生アイコン）が表示されます。

■ ファイル一覧画面で使用できる機能

ファイル一覧画面で[Menu]を押すと、次の機能を使用できます。

- 該当のテンキーを押しても各機能を使用することができます。
- 一度削除されたファイルは元に戻すことはできません。

	項目	説明
削除	1 件削除	ファイルを 1 件削除します。
	選択削除	ファイルを複数選択して削除します。
	全件削除	ファイルを全件削除します。

■ ファイル詳細について



受信ファイル詳細表示画面



送信ファイル詳細表示画面

	項目	説明
1	前のファイル／次のファイル	◀を押すと前のファイルを表示できます。 ▶を押すと次のファイルを表示できます。
2	送信元／送信先	番号帳に登録されている場合は、登録されている名称が表示されます。名称が長い場合は省略文字（…）で表示されます。
3	画像	撮影した写真／動画が表示されます。動画には▶（再生アイコン）が表示されます。 [OK]を押すと写真を拡大表示できます。動画の場合は再生できます。
4	撮影日時	撮影日時が表示されます。

	項目	説明
5	コメント	コメント文が表示されます。

■ ファイル詳細表示画面で使用できる機能

ファイル詳細表示画面で  を押し、次の機能を使用できます。

- 該当のテンキーを押しても各機能を使用することができます。
- 一度削除されたファイルは元に戻すことはできません。

	項目	説明
	削除	ファイルを削除します。

■ 受信ファイルを確認する

1 メインメニューで (ファイル一覧)

2 → 「受信ファイル」タブ



3 受信ファイルを選択

受信した写真／動画が表示されます。

- 通知バーから  が消えます。



送信ファイルを確認する

- 1 メインメニューで□(ファイル一覧)
- 2 ◀ ▶ → 「送信ファイル」タブ



3 送信ファイルを選択

送信した写真／動画が表示されます。



IP無線の設定をする

IP無線設定について

本アプリの各機能を設定します。

1 待受画面で☰ Menu を長押し

- 待受画面で☰ Menu → 「設定」を選択しても、設定画面が表示されません。

2 次の各項目を設定

項目	説明
接続設定	「接続設定をする」(→ P.85)
機能設定	「機能設定をする」(→ P.87)
アプリ設定	「アプリ設定をする」(→ P.91)
グループ管理	「グループを管理する」(→ P.93)
設定情報管理	「設定情報を管理する」(→ P.97)
ご利用規約	「ご利用規約」(→ P.98)
アプリ情報	「アプリ情報」(→ P.99)

📢 お知らせ

- 販売代理店での設定により、項目が非表示またはグレー表示され選択できない場合があります。

■ 各設定、管理画面で使用できる機能

各設定、管理画面で  を押すと、次の機能を利用できます。

項目	説明
ショートカット登録 ※1	選択した項目をショートカットに登録します。

※1 「ショートカット機能設定」(→P.88)を「利用する(編集可)」に設定している場合のみ、操作できます。

接続設定をする

不在着信時の通知や位置情報機能、RBT機能などを設定します。

1 待受画面で を長押し→「接続設定」

1	接続設定
2	機能設定
3	アプリ設定
4	グループ管理
5	設定情報管理
6	
7	
8	
9	ご利用規約
0	アプリ情報

接続設定画面が表示されます。

2 次の各項目を設定

項目	説明	
無線機情報 (接続設定)	本機の個別番号や通信 ID、通信パスワードなど、通信に必要な情報を確認します。	
無通話タイムアウト設定	無通話状態が続いた場合、自動的に通話を切断するまでの時間を設定します。	
終話設定	発信者からのみ通話を終了できるか、発信者・着信者のどちらからも通話を終了できるかを設定します。	
通話開始位置時間設定	通話開始位置時間を設定します。「小」に設定すると、通話開始までの時間は短くなりますが、音質は劣ります。「大」に設定すると、通話開始までの時間は長くなりますが、音質は良くなります。	
個別切替設定	 または PTT スイッチを押すことで、個別通話に切り替えるかどうかを設定します。	
不在着信通知設定	不在着信利用設定	不在着信があったときに、LED と通知音でのお知らせの有無を設定します。
	鳴動時間設定	不在着信を通知する時間を設定します。
位置情報機能設定	「位置情報機能を設定する」(→ P.86)	

項目	説明	
RBT 機能設定	RBT 利用設定	発信時、RBT 機能の利用について設定します。確実に通話を伝えるためにこの機能を利用します。RBT 機能を利用して発信すると、着信者側が応答操作を行うことで通話できます。RBT 機能を利用しないで発信した場合、着信者側の IP 無線機は自動応答します。
	RBT 常時利用設定	「RBT 利用設定」を「常時利用」に設定している場合、RBT 機能を利用する呼出モード（通話モード）を選択します。
通話離脱設定	「一斉呼出」「強制一斉呼出」「グループ呼出」「強制グループ呼出」での通話時に、その通話から抜けることができるかどうかを設定します。	

■ 位置情報機能を設定する

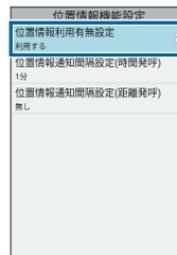
位置情報機能を設定すると、GPS機能を使用して現在地を測位できます。(→P.68)

1 接続設定画面で「位置情報機能設定」



位置情報機能設定画面が表示されます。

2 「位置情報利用有無設定」にチェックを入れる



3 「位置情報通知間隔設定（時間発呼）」→位置情報を通知する時間間隔を選択

位置情報通知間隔設定(時間発呼)	
無し	<input type="radio"/>
5秒	<input type="radio"/>
10秒	<input type="radio"/>
20秒	<input type="radio"/>
30秒	<input type="radio"/>
1分	<input checked="" type="radio"/>
2分	<input type="radio"/>
5分	<input type="radio"/>

4 「位置情報通知間隔設定（距離発呼）」→位置情報を通知する移動距離を選択

位置情報通知間隔設定(距離発呼)	
無し	<input checked="" type="radio"/>
50m	<input type="radio"/>
100m	<input type="radio"/>
150m	<input type="radio"/>
200m	<input type="radio"/>
500m	<input type="radio"/>
1000m	<input type="radio"/>

お知らせ

- 「位置情報通知間隔設定（時間発呼）」で設定した時間毎に、位置情報サービスに位置情報が通知されます。
- 「位置情報通知間隔設定（距離発呼）」で設定した距離毎に、位置情報サービスに位置情報が通知されます。
- 両方設定した場合は、時間経過または移動距離のどちらかが設定値を満たした時点で位置情報サービスに位置情報が通知されます。
- 位置情報が通知された時点で、経過時間や移動距離はリセットされ、その時点から時間と距離が測定されます。

機能設定をする

待受画面に表示する情報や、メッセージ機能、RED ALERT機能などを設定します。

1 待受画面で を長押し→「機能設定」

1	接続設定
2	機能設定
3	アプリ設定
4	グループ管理
5	設定情報管理
6	
7	
8	
9	ご利用規約
0	アプリ情報

機能設定画面が表示されます。

2 次の各項目を設定

項目	説明	
待受表示設定	「待受画面に表示する情報を設定する」(→ P.88)	
デフォルト呼出表示設定	「デフォルト呼出表示を設定する」(→ P.89)	
番号帳機能設定	番号帳を編集・削除できるようにするかどうかを設定します。	
カテゴリ名称機能設定	番号帳のカテゴリ色と名称を編集できるようにするかどうかを設定します。	
呼出モード設定	「呼出モード(通話モード)を設定する」(→ P.90)	
メッセージ機能設定	メッセージ送信設定	メッセージを送信できるようにするかどうかを設定します。
	定型文編集機能設定	定型文を編集・削除できるようにするかどうかを設定します。
	メッセージ削除機能設定	送受信したメッセージを削除できるようにするかどうかを設定します。
	フォントサイズ	メッセージ作成時の本文入力画面やメッセージ詳細表示画面の文字サイズを設定します。

項目	説明
録音機能設定	録音機能を利用するかどうか、録音データを削除できるようにするかどうかを設定します。
ショートカット機能設定	ショートカットを編集・削除できるようにするかどうかを設定します。
RED ALERT機能設定	「RED ALERT を設定する」(→ P.90)
発信履歴削除機能設定	通話履歴を削除できるようにするかどうかを設定します。

■ 待受画面に表示する情報を設定する

1 機能設定画面で「待受表示設定」



2 待受画面に表示する情報を選択

「最終通話」：最後に発信／着信した相手の情報

「発信履歴」：最後に発信した相手の情報

「着信履歴」：最後に着信した相手の情報

「デフォルト」：「デフォルト呼出表示設定」で設定した情報

■ デフォルト呼出表示を設定する

1 機能設定画面で「デフォルト呼出表示設定」



2 呼出モード（通話モード）欄を選択→呼出モード（通話モード）を選択



- 呼出モード（通話モード）は「未設定」「一斉」「強制一斉」「G」「強制G」「個別」「指令局」「地域」「近隣」から選択します。
- 「未設定」「一斉」「強制一斉」「近隣」を選択した場合は、手順4に進みます。

3 番号入力欄を選択→相手の番号を入力



- 入力した呼出モード（通話モード）と番号が番号帳に登録されている場合は、登録されている名称が表示されます。

4 「登録」

■ 呼出モード（通話モード）を設定する

本アプリで利用する呼出モード（通話モード）を設定します。

- 呼出モード（通話モード）の種類については、「呼び出して通話する」（→P.46）をご覧ください。

1 機能設定画面で「呼出モード設定」



2 利用する呼出モード（通話モード）にチェックを入れる

お知らせ

- 選択していない呼出モード（通話モード）は、待受画面で  を押したときに表示されません。

■ RED ALERTを設定する

非常時、サーバーに通知を行う非常送信機能（RED ALERT）を使用するかどうかを設定します。

RED ALERTを解除するときに、パスコードまたはパスワードを入力するように設定することもできます。

1 機能設定画面で「RED ALERT機能設定」



2 「RED ALERT利用設定」にチェックを入れる



3 「RED ALERTのロック設定」→「なし」、「パスコード」または「パスワード」を選択

- RED ALERTのロック解除時にパスコード等の入力が必要としない場合は「なし」を選択します。



4 パスコードまたはパスワードを入力



- 「パスワードを表示する」または「パスワードを表示する」にチェックを入れると、入力したパスコードまたはパスワードが表示されます。

■ パスコードを入力する場合

新しいパスコードを入力→「OK」→再度新しいパスコードを入力→「OK」

■ パスワードを入力する場合

新しいパスワードを入力→再度新しいパスワードを入力→「OK」

■ RED ALERT利用時の各機能を設定する

- RED ALERTの動作時に警報音が鳴動するように設定する
RED ALERT機能設定画面で「RED ALERT鳴動設定」にチェックを入れる
- RED ALERTの警報音は、音量やマナーモードの設定に関係なく最大音量で鳴動します。
- RED ALERTの動作中でも通話機能を利用できるように設定する
RED ALERT機能設定画面で「RED ALERT通話利用設定」にチェックを入れる
- RED ALERTが起動するまでの非常スイッチの長押し時間を設定する
RED ALERT機能設定画面で「RED ALERT切替時間設定」→時間を選択
1秒/3秒/5秒から選択できます。

アプリ設定をする

画面表示やキー操作などを設定します。

1 待受画面で☰Menuを長押し→「アプリ設定」



アプリ設定画面が表示されます。

2 次の各項目を設定

項目	説明	
バックグラウンド動作設定	PTTスイッチ設定	本アプリがバックグラウンドのとき、PTTスイッチを押した場合の動作を設定します。 「発信・発話」を選択すると、直前に表示していた発信先へ発信します。PTTスイッチを押し続けていると発話できます。 「アプリ画面表示」を選択すると、待受画面を表示します。再度、PTTスイッチを押すと発信できます。
	終話時表示機能設定	本アプリがバックグラウンドのときに着信を受けた通話において、終話時に本アプリ画面を表示するかどうかを設定します。
通話時間表示設定	通話中画面に通話時間を表示するかどうかを設定します。	
画面タッチ設定	タッチパネルの操作を有効にするかどうかを設定します。	
利用モード設定	「シンプルモードを利用する」(→P.75)	

項目	説明
PTTスイッチ利用設定	「本体 PTT スイッチ強制無効」「外部 PTT スイッチ強制無効」を選択すると本体の PTT スイッチ、または外部スピーカマイク（別売品）の PTT スイッチを無効にすることができます。本体と外部スピーカマイク（別売品）の両方の PTT スイッチを無効にすることもできます。*1
圏外時、切断 ON / OFF 設定	電波状態が悪くなったときに、通話を切断するタイミングを設定します。ただし、設定したタイミングで切断されない場合もあります。
マイクゲイン設定	「マイクゲインを設定する」(→P.93)
ノイズリダクション設定	ノイズリダクション機能を利用するかどうかを設定します。
マイクテスト	マイクテストを実行します。
多機能ノブ利用設定	「多機能ノブを利用する」(→P.52)
Bluetooth デバイス設定	特定の Bluetooth® デバイスとの接続を設定します。(→P.127、P.128、P.129)

*1 本アプリが表示されているときのみ有効な設定となります。バックグラウンドのときは設定にかかわらず、本体と外部スピーカマイク等の PTT スイッチが有効となります。

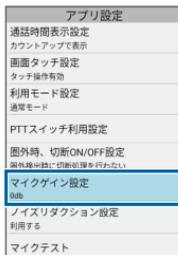
マイクゲインを設定する

他の機種と通話する際に、必要に応じてマイクゲインを調整することができます。

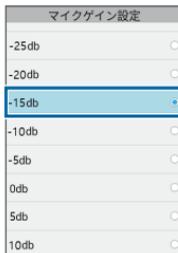
受信側でA501SJの音声が大きく聞こえる場合には、マイクゲインを下げてください。

小さく聞こえる場合には、マイクゲインを上げてください。

1 アプリ設定画面で「マイクゲイン設定」



2 マイクゲインを選択



- ゲイン値は、「-30db」、「-25db」、「-20db」、「-15db」、「-10db」、「-5db」、「0db」、「5db」、「10db」から選択できます。

グループを管理する

本機が登録されているグループを確認したり、本機をグループに登録したりします。

1 待受画面で を長押しし「グループ管理」



グループ管理画面が表示されます。

2 次の各項目を設定

項目	説明
グループ一覧確認/変更	グループを確認/変更します。 詳しくは「グループを確認する」(→ P.94)をご覧ください。
グループ登録 ※1	グループを登録します。 詳しくは「グループに登録する」(→ P.95)をご覧ください。
グループ通話 割込設定 ※2	グループ登録時、登録グループの通話に途中参加できるようにするかどうかを設定します。 「利用する(割込可)」を設定した場合、グループ登録時、該当グループが通話している場合には途中参加することができます。*3
未所属グループ 発信抑止設定 ※1	登録していないグループへ発信できるようにするかどうかを設定します。 ただし、「利用する(発信不可)」を設定した場合、以下操作にてグループの登録情報を最新にご利用ください。 <ul style="list-style-type: none"> • 「グループを確認する」(→ P.94)の操作 • 「グループに登録する」(→ P.95)の操作

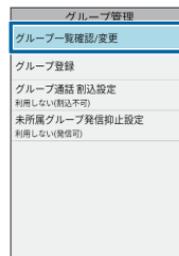
※1 指令局では表示されません。

※2 指令局では設定できません。

※3 本機でグループを変更した場合のみ設定が有効となります。

■ グループを確認する

1 グループ管理画面で「グループ一覧確認/変更」



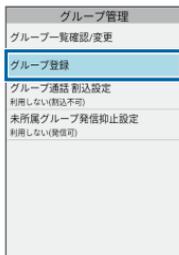
- 「所属グループ」タブには、本機が登録されているグループが表示されます。すべてのグループを確認するには、「全グループ」タブを選択します。

📢 お知らせ

- 所属グループ一覧画面または全グループ一覧画面で  → 「グループ設定」→登録するグループを選択すると、本機をグループに登録できます。ただし、ご契約時に「グループ設定」を「Web」に設定されている場合は、本操作はできません。
- グループ情報の取得に成功した場合、待受画面のグループ表示部(→P.41)も更新されます。

■ グループに登録する

1 グループ管理画面で「グループ登録」



2 グループ番号を入力



- すでに番号が入力されている場合は、**[C]**を押して番号をリセットしてから入力します。
- グループ登録履歴が表示されている場合は、グループ登録履歴からグループを選択→「はい」を選択しても登録できます。

👉 お知らせ

- ご契約時の「グループ設定」にかかわらず、本機でグループ登録できます。ただし、複数のグループに登録されていた場合は、本機で設定したグループのみの登録となり、他のグループからは解除されます。
- 登録したグループが通話中の場合、手順2で登録が成功したあとに通話に割り込むことができます。あらかじめ、「グループ通話 割込設定」(→P.94)を「利用する(割込可)」に設定する必要があります。
- グループ登録が成功した場合、待受画面のグループ表示部(→P.41)も更新されます。

■ グループ登録画面で使用できる機能

グループ登録画面で \square を押すと、次の機能を使用できます。

項目		説明
履歴削除	1件削除	グループ登録履歴を1件削除します。
	全件削除	グループ登録履歴を全件削除します。
ショートカット登録 ^{※1}	画面	表示しているグループ登録画面をショートカットに登録します。
	選択中グループ	選択したグループへの登録操作をショートカットに登録します。

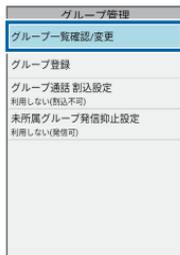
※1「ショートカット機能設定」(→P.88)を「利用する(編集可)」に設定している場合のみ、操作できます。

■ 複数のグループに登録する

本機では複数の所属グループ（最大5つ）を設定することができます。

- 移動局でグループ設定を変更する場合、お申し込み時に販売代理店に申請して、「グループ設定」を「端末」にする必要があります。
- お申し込み後に変更する場合は、販売代理店にご連絡ください。

1 グループ管理画面で「グループ一覧確認／変更」



- 「所属グループ」タブには、本機が登録されているグループが表示されます。すべてのグループを確認するには、「全グループ」タブを選択します。

2 ≡ Menu → 「グループ設定」 → 登録するグループを選択



- 選択できるグループは最大5つです。

3 ≡ Menu (設定) → 「はい」

- 「いいえ」を選択するとグループ設定画面に戻ります。
- 事前に登録された利用可能なグループ以外は設定できません。
- グループ通話割込設定は、設定したグループが1つの場合のみ有効となります。
- 複数のグループを設定した場合、待受画面のグループ表示部には、グループアイコンが表示されます。



設定情報を管理する

メニュー操作から更新する

1 待受画面で を長押し → 「設定情報管理」

1	接続設定
2	機能設定
3	アプリ設定
4	グループ管理
5	設定情報管理
6	
7	
8	
9	ご利用規約
0	アプリ情報

設定情報管理画面が表示されます。

2 次の各項目を設定

項目	説明
ダウンロード※1	設定情報をダウンロード・設定します。
QRコード読み込み※1	QRコードを使用して設定情報をダウンロード・設定します。
リセット	「リセットする」(→ P.97)

※1 詳細はお買い上げの販売代理店へお問い合わせください。

リセットする

通話履歴や設定情報、録音データなどを消去し、本アプリを初期状態に戻します。

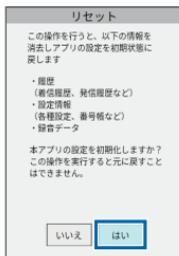
- ご契約時に販売代理店で設定した内容もすべて消去され、本アプリやその他のアプリの通信機能が使用できなくなります。ご契約時の状態に戻す場合は、販売代理店にお問い合わせください。
- 電池残量が少ないと、リセットができません。十分に充電したうえで操作してください。

1 設定情報管理画面で「リセット」

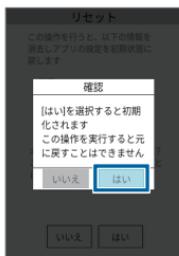
設定情報管理
ダウンロード
QRコード読み込み
リセット

確認画面が表示されます。

2 「はい」



3 「はい」



本機が再起動されます。

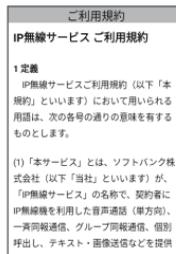
- 本アプリのデータがすべて消去され、設定内容が初期状態に戻ります。
- 本アプリ以外のデータは消去されません。

ご利用規約

IP無線サービスのご利用規約を確認できます。

1 待受画面で  を長押し→「ご利用規約」

IP無線サービスのご利用規約が表示されます。



アプリ情報

本アプリの情報や、GPSによる緯度・経度情報などが確認できます。

1 待受画面で を長押し → 「アプリ情報」

1	接続設定
2	機能設定
3	アプリ設定
4	グループ管理
5	設定情報管理
6	
7	
8	
9	ご利用規約
0	アプリ情報

各種情報が表示されます。

アプリ情報	
アプリバージョン	1.0.0
アプリ稼働時間	00:00:00
GPS取得可否	GPS圏外
GPS捕捉数	GPS測定不可
緯度・経度	緯度: 35.681214 経度: 139.767125

4

無線

5 アプリの基本

アプリについて 102

アプリについて

アプリを起動する

1 待受画面で

ホーム画面が表示されます。

2 (アプリ一覧)



アプリ一覧画面が表示されます。

3 起動するアプリを選択



アプリが起動します。

お知らせ

アプリの利用に必要な権限について

- 一部のアプリを利用するには、本機内のデータへのアクセスなど、重要な機能へのアクセス権限を許可する必要があります。
- 許可が必要なアプリは、起動時に確認画面が表示され、画面の指示に従って操作することでアプリを使用できます。
- 詳しくは、「アプリの確認」(→P.134)をご覧ください。

アプリを切り替える

1 を長押しする

アプリの履歴が表示されます。

2 使用したいアプリを選択



選択したアプリが表示されます。

アプリ一覧

アイコン	機能・サービス
 (設定)	本機の各種設定ができます。
 (時計)	アラームやストップウォッチ、タイマーを利用できます。
 (カレンダー)	予定を登録して管理できます。
 (音声レコーダー)	音声の録音／再生ができます。
 (ファイル)	本機に保存した写真や動画などのファイルを閲覧できます。
 (電卓)	電卓を利用して計算ができます。
 (Browser)	インターネットを利用してウェブサイトなどを閲覧できます。
 (IP 無線)	あらかじめグループとして設定されている他の IP 無線機と、一斉通話やグループ通話、個別通話、メッセージの送受信などが利用できます。

5

アプリの基本

6 便利な機能

ライトを点灯する	106
カレンダーを利用する	106
時計／アラームを利用する.....	109
ブラウザを利用する	115
ファイルを利用する	119
電卓を利用する	120
音声レコーダーを利用する.....	120

ライトを点灯する

[*]を長押しするとライトが点灯します。

- 画面上部を下にスワイプ→コントロールセンターで「ライト」をタップしてもライトが点灯します。

カレンダーを利用する

カレンダーを利用してスケジュール管理ができます。

カレンダー利用時の操作

1 今日のカレンダーを表示する

カレンダー画面で $\left[\equiv \text{Menu} \right]$ →「今日」

2 次／前の月を表示する

カレンダー画面で $\left[\blacktriangledown \right]$ (次) / $\left[\blacktriangle \right]$ (前)

3 次／前の日／週を表示する

カレンダー画面で $\left[\blacktriangleright \right]$ (次) / $\left[\blacktriangleleft \right]$ (前)

4 カレンダーの表示形式を変更する

カレンダー画面で $\left[\equiv \text{Menu} \right]$ →「表示タイプ」→「日」 / 「週」 / 「月」 / 「予定リスト」

カレンダーに予定を登録する

1 待受画面で $\left[\text{Home} \right]$ → $\left[\text{アプリ一覧} \right]$ → $\left[\text{カレンダー} \right]$



カレンダー画面が表示されます。

お知らせ

- 前回カレンダーを使用したときに、表示形式（日／週／月／予定リスト）を変更した場合は、前回の終了時と同じ形式で表示されます。

2 予定を登録する日または時刻を選択 → → 「予定を作成」



予定登録画面が表示されます。

3 タイトル／開始日時／終了日時などを入力 → → 「完了」



予定が登録されます。

予定登録画面で  を選択しても登録されます。

予定を確認する

1 待受画面で → (アプリ一覧) → (カレンダー)

カレンダー画面が表示されます。

2 予定を選択



選択した予定の詳細が表示されます (予定詳細画面)。



- 予定詳細画面で「通知を追加」を選択すると、通知する時間を追加できます。

- 予定詳細画面で☰Menu→「編集」で予定を編集できます。
🔍を選択しても編集できます。
- 予定を削除するには、予定詳細画面で☰Menu→「削除」と操作します。
(複数の予定を同時に削除することはできません)

■ 予定確認時の操作

• 予定を検索する

カレンダー画面で☰Menu→「検索」→検索する文字列を入力

• 予定リストを確認する

カレンダー画面で☰Menu→「表示タイプ」→「予定リスト」

カレンダーの設定を変更する

1 カレンダー画面で☰Menu→「設定」



設定画面が表示されます。

2 次の各項目を設定

項目	説明
第何週かを表示	カレンダー画面で年の第何週かを表示するかどうかを設定します。
週の開始日	カレンダー画面で表示する週の開始曜日を設定します。
自宅タイムゾーン	自宅のタイムゾーンを設定します。
検索履歴を消去	検索履歴を消去します。
通知	通知の有効/無効を設定します。通知が有効な場合、通知音声の有効/無効を設定します。
音声	通知音を設定します。
ポップアップ通知	ポップアップ通知の有効/無効を設定します。
既定の通知時間	既定のリマインダ通知時間を設定します。

時計／アラームを利用する

アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用できます。

アラームを設定する

1 待受画面で  →  (アプリ一覧) →  (時計)



2  (アラーム)



アラーム画面が表示されます。

3 



時刻の設定画面が表示されます。

4 時刻を設定 → 「OK」



アラームが設定され、詳細設定画面が表示されます。

5 次の各項目を設定

詳細設定が表示されていない場合は  を選択します。

項目	説明
繰り返し	アラームの設定を適用する曜日を設定します。
アラーム音	アラーム音を設定します。
ラベル	アラームの名前を設定します。

■ アラーム通知時の動作

アラーム設定時刻になるとアラーム音でお知らせします。

6

便利な機能

アラームの設定を変更する

1 待受画面で  →  (アプリ一覧) →  (時計)

2  (アラーム)

アラーム画面が表示されます。



3 アラームを選択→次の各項目を設定



項目	説明
時刻	アラームを鳴らす時刻を設定します。
繰り返し	アラームの設定を適用する曜日を設定します。
アラーム音	アラーム音を設定します。
ラベル	アラームの名前を設定します。

アラームの設定変更が完了します。

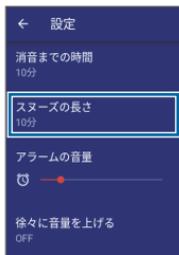
スヌーズの長さを変更する

- 1 待受画面で  →  (アプリ一覧) →  (時計)
- 2  → 「設定」



設定画面が表示されます。

3 「スヌーズの長さ」



4 時間を選択



スヌーズの長さの変更が完了します。

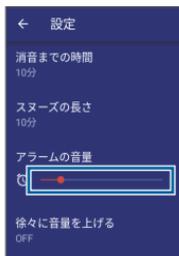
アラームの音量を変更する

- 1 待受画面で  →  (アプリ一覧) →  (時計)
- 2  → 「設定」



設定画面が表示されます。

3 「アラームの音量」の音量バーを操作



アラームの音量の変更が完了します。

6

便利な機能

アラームを止める

- 1 アラーム通知の画面で🕒を右(🔕)へドラッグ



アラームが止まります。

- 🕒を左(🔕)へドラッグするとスヌーズになります。

アラームを取り消す

- 1 待受画面で🏠 → 🗄️ (アプリ一覧) → 🕒 (時計)
- 2 🕒 (アラーム)

アラーム画面が表示されます。

3 取り消したいアラーム設定の



アラームが取り消されます ( 表示)。

■ アラーム設定を削除する

アラーム画面で削除したいアラーム設定の  → 「削除」

世界時計を利用する

1 待受画面で  →  (アプリ一覧) →  (時計)

2 

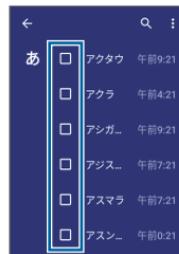
時計画面が表示されます。

3



都市の選択画面が表示されます。

4 追加する都市を選択 →

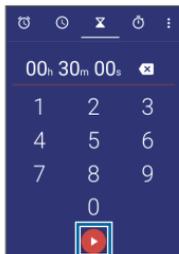


都市が追加されます。

-  → 都市名を入力して都市を検索できます。

タイマーを利用する

- 1 待受画面で  →  (アプリ一覧) →  (時計)
- 2  (タイマー)
タイマー画面が表示されます。
- 3 時間を入力 → 



カウントダウンが始まります。

- 時間は秒、分、時の順に入力できます。入力した時間を削除するには  を押します。
- カウントダウンを一時停止するには 、再開するには  を選択します。カウントダウンの一時停止中に「リセット」を選択するとカウントダウンした時間をリセットします。
- 設定時間を経過すると、タイマー音でお知らせします。タイマー音を停止するときは  を選択します。タイマー画面以外を表示している場合は、画面上部を下にスワイプ → 「停止」を選択します。

ストップウォッチを利用する

- 1 待受画面で  →  (アプリ一覧) →  (時計)
- 2  (ストップウォッチ)
ストップウォッチ画面が表示されます。
- 3 



計測が始まります。

4



計測時間が表示されます。

- 計測中に「ラップ」を選択すると、ラップタイムを計測できます。
- 計測終了後に「リセット」を選択すると、計測時間をリセットできます。

ブラウザを利用する

インターネットを利用してウェブサイトなどを閲覧できます。

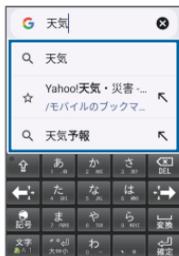
Browserを開く

- 1 待受画面で  →  (アプリ一覧) →  (Browser)



Browser画面が表示されます。

2 入力欄を選択→検索する文字またはURLを入力 →一覧表示から項目を選択



検索結果が表示されます。

ブックマークを登録する

1 登録するウェブサイトを表示→☰Menu→☆→ポップアップ表示をタップ

ブックマークの編集画面が表示されます。



■ ブックマーク保存時の操作

- 名前やURLを編集する
名前やURLを選択→文字列を編集
- 保存先を変更する
「フォルダ」の保存先をタップ→保存先のフォルダを選択→「ここに移動」
☞をタップするとサブフォルダを作成できます。

2 ☰Menu

ウェブサイトの表示に戻ります。

- ブックマークを解除するには、☰Menu→★→ブックマークの編集画面で☒と操作します。

ブックマークに登録したウェブサイトを表示する

1 Browser画面で☰Menu→「ブックマーク」→ブックマークが保存されているフォルダを選択 フォルダ内のブックマークが表示されます。



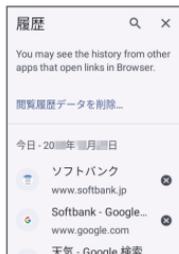
2 ブックマークを選択

ウェブページが表示されます。

閲覧履歴からウェブサイトを表示する

1 Browser画面で[Menu]→「履歴」

履歴画面が表示されます。



2 対象の履歴を選択

ウェブページが表示されます。

閲覧履歴を削除する

1 Browser画面で[Menu]→「履歴」

履歴画面が表示されます。

2 削除する履歴の✕



履歴が削除されます。

■ 特定の条件で履歴を削除する

Browser画面で[Menu]→「閲覧履歴データを削除」→削除する期間や種類などを選択→「データを削除」と操作します。

Browserを設定する

ブラウザに関するさまざまな設定を行うことができます。

1 Browser画面で → 「設定」

設定画面が表示されます。



項目	説明	
基本設定	検索エンジン	使用する検索エンジンを指定します。
	アドレスバー	アドレスバーの表示位置を設定します。
	プライバシーとセキュリティ	閲覧履歴データの削除やプライバシーガイドの確認など、プライバシーとセキュリティに関する設定をします。
	安全チェック	安全性に関するチェック結果を確認します。

項目	説明	
パスワードと自動入力	お支払い方法	支払い方法に関する設定をします。
	住所やその他の情報	住所などの情報を設定します。
	自動入力サービス	パスワードや支払い方法などの自動入力に関する設定をします。
詳細設定	タブとタブグループ	一定期間利用していないタブの移動など、タブとタブグループに関する設定をします。
	ホームページ	アプリを起動したときに表示されるウェブサイトや、ホームボタンの表示に関する設定をします。
	ツールバーショートカット	ツールバーのショートカット表示に関する設定をします。
	通知	通知機能を設定します。
	モード	画面の表示モード（ライト／ダーク）を設定します。
	ユーザー補助機能	表示の拡大／縮小やズーム機能などに関する設定をします。
	サイトの設定	アプリに各機能を許可するかどうかなどを設定します。
	言語	表示言語を設定します。
	ダウンロード	ウェブサイトからダウンロードしたデータの保存先などを設定します。
	About Browser	アプリのバージョン情報や法的情報などを確認します。

ファイルを利用する

本機に保存した写真や動画などのファイルを開覧できます。

ファイルを開覧する

- 1 待受画面で  →  (アプリ一覧) →  (ファイル)



ファイル画面が表示されます。

- 2  → カテゴリを選択



- 3 閲覧したいファイルを選択

選択したファイルが表示／再生されます。

電卓を利用する

本機で電卓を利用できます。

- 1 待受画面で  →  (アプリ一覧) →  (電卓)



電卓画面が表示されます。

- 2 画面上のキーをタップして計算



- 画面右側の緑色の部分を左にスワイプすると、() や π などの記号の入力や、関数の計算ができます。

音声レコーダーを利用する

本機で音声の録音／再生ができます。

音声を録音する

- 1 待受画面で  →  (アプリ一覧) →  (音声レコーダー)



音声レコーダー画面が表示されます。

2 ●



録音が始まります。

- 録音中に || を選択すると、録音を一時停止できます。

3 ■



録音が停止されます。

4 ファイル名を入力→「保存」

録音が保存されます。

■ 録音時の設定を変更する

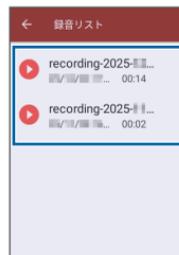
音声レコーダー画面で ⚙️ → 各項目を設定

音声を再生する

1 待受画面で 🏠 → 📱 (アプリ一覧) → 🎙️ (音声レコーダー)

音声レコーダー画面が表示されます。

2 ☰ → 再生するデータを選択



再生が始まります。

- 再生中に || を選択すると、再生を一時停止できます。

■ 録音データの操作

● 録音データのファイル名を変更する

音声レコーダー画面で ☰ → 変更するデータをロングタッチ → ⋮ → 「編集」 → ファイル名を入力 → 「保存」

● 録音データを削除する

音声レコーダー画面で ☰ → 削除するデータをロングタッチ → ⋮ → 「削除」 → 「削除」

6

便利な機能

7 Bluetooth

Bluetooth [®] 機能を利用する	124
--------------------------------------	-----

Bluetooth[®]機能を利用する

Bluetooth[®]対応の携帯電話などと接続して通信を行ったり、ヘッドセットなどの機器と接続して利用できます。

Bluetooth[®]機能でできること

Bluetooth[®]機能は、パソコンなどのBluetooth[®]機器とワイヤレス接続できる技術です。次のようなことができます。

機能	説明
オーディオ出力	IP無線を使った通話音声を聴くことができます。

- IP無線の各種音声や通知音再生においてBluetooth[®]機能を利用できます。IP無線で利用しているときは、通知音が鳴らなかったり、非常に小さく聞こえたりする場合があります。

Bluetooth[®]機能を有効にする

- 1  (設定) → 「接続設定」 → 「接続の詳細設定」 → 「Bluetooth」



Bluetooth[®]画面が表示されます。

- 2 「Bluetoothを使用」



Bluetooth[®]機能がONになります。「新しいデバイスとペア設定」を選択すると、使用可能なBluetooth[®]機器が検索されます。

■ Bluetooth[®]機能が有効時の操作

- 他の機器を検索する
Bluetooth画面で「新しいデバイスとペア設定」
「Bluetooth」がONのときに利用できます。
- 他の機器で表示される本機の名前を変更する
Bluetooth画面で「デバイス名」→名前を入力→
「名前を変更」
「Bluetooth」がONのときに利用できます。

! ご注意

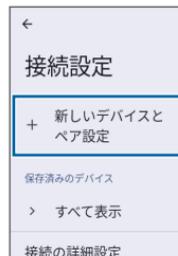
- 本機は、すべてのBluetooth[®]機器との接続・動作を保証するものではありません。
下記については、正常の動作を確認しております。ただし、そのすべての動作について保証するものではありません。
 - SEECODE PTT内蔵マイクスピーカー
(型番：SCP-960Plus)
 - SEECODE Remote PTT (型番：SHP-612Plus)
 - Jabra Perform 45 (モデル番号：OTE980)
- 送受信したデータの内容によっては、互いの機器で正しく表示されないことがあります。

Bluetooth[®]機器をペア設定する

近くにあるBluetooth[®]機器を検索し、本機にペア設定します。ペア設定したBluetooth[®]機器には簡単な操作で接続できます。

- あらかじめ、ペア設定するBluetooth[®]機器のBluetooth[®]機能を有効にしておいてください。

1 (設定) → 「接続設定」 → 「新しいデバイスとペア設定」



新しいデバイスとペア設定画面が表示されます。

2 使用可能なデバイスを選択→画面の指示に従って機器を認証



Bluetooth[®]機器が本機に登録されます。

- 「使用可能なデバイス」欄に、近くにあるBluetooth[®]機器が表示されます。
- 目的の機器が見つからないときは、「新しいデバイスとペア設定」をタップし、再検索を行ってください。
- ペア設定する機器によって、認証方法が異なります。

ペア設定済みのBluetooth®機器と接続する

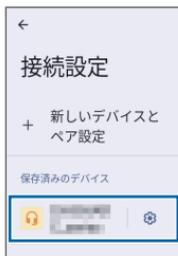
1 ⚙️ (設定) → 「接続設定」



接続設定画面が表示されます。

- 「保存済みのデバイス」欄に、ペア設定済みのBluetooth®機器が表示されます。

2 機器を選択



Bluetooth®機器と接続されます。

■ ペア設定済みのBluetooth®機器利用時の操作

- ペア設定した機器の名前を変更する
保存済みのデバイスの ⚙️ → デバイスの詳細画面で
✎ → 名前を入力 → 「名前を変更」
「Bluetooth」がONのときに利用できます。
- ペア設定を解除する
保存済みのデバイスの ⚙️ → デバイスの詳細画面で
「削除」 → 「このデバイスとのペア設定を解除」
「Bluetooth」がONのときに設定できます。
- ペア設定した機器のサービスを利用するかどうかを設定する
保存済みのデバイスの ⚙️ → デバイスの詳細画面で各項目のON/OFFを設定
確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。
「Bluetooth」がONのときに利用できます。
各サービスに対応している機器とペア設定したときに利用できます。

■ SCP-960Plusと接続する

あらかじめ、SCP-960PlusのBluetooth[®]機能を有効にしておいてください。詳しくはSCP-960Plusの取扱説明書などをご覧ください。

1 待受画面で[Menu]を長押し→「アプリ設定」



アプリ設定画面が表示されます。

2 「Bluetoothデバイス設定」



3 「SCP-960Plus」を選択



接続が開始されます。

4 「OK」



■ SHP-612Plusと接続する

SHP-612Plusとの接続は、事前のペア設定は不要です。本項での設定のみで接続できます。

あらかじめ、SHP-612PlusのBluetooth[®]機能を有効にしておいてください。詳しくはSHP-612Plusの取扱説明書などをご覧ください。

1 待受画面で を長押し → 「アプリ設定」



アプリ設定画面が表示されます。

2 「Bluetoothデバイス設定」



3 「SHP-612Plus」を選択



接続が開始されます。

4 「OK」



■ Jabra Performと接続する

あらかじめ、Jabra PerformのBluetooth[®]機能を有効にしておいてください。詳しくはJabra Performの取扱説明書などをご覧ください。

1 待受画面で[Menu]を長押し→「アプリ設定」



アプリ設定画面が表示されます。

2 「Bluetoothデバイス設定」



3 「Jabra Perform」を選択



接続が開始されます。

4 「OK」



8 端末設定

端末設定について	132
ネットワークとインターネット	133
アプリの確認	134
通知の設定	136
バッテリーの設定	137
ストレージの設定	138
音の設定	139
ディスプレイ設定	143
ユーザー補助の設定	146
セキュリティとプライバシーの設定	147
位置情報の設定	149
システムの設定	150
デバイス情報	154

端末設定について

待受画面で  →  (アプリ一覧) →  (設定) と操作すると、本機の各機能のはたらきをカスタマイズできます。端末設定には次の項目があります。

項目	説明
ネットワークとインターネット	Wi-Fi やモバイルネットワーク、eSIM、モバイルデータ通信の使用量などに関する設定ができます。
接続設定	Bluetooth® 接続の利用を設定できます。(→ P.124)
アプリ	アプリを確認できます。
通知	通知に関する設定ができます。
バッテリー	バッテリーの使用状況を確認できます。
ストレージ	本体のストレージ容量の確認ができます。
音	通知音、アラーム音など、音に関する設定ができます。
ディスプレイ	画面の明るさや点灯時間などが設定できます。
ユーザー補助	表示サイズや字幕などに関する機能を設定できます。
セキュリティとプライバシー	画面ロックや、端末の暗号化などに関する設定ができます。
位置情報	位置情報の利用を設定できます。

項目	説明
システム	表示言語や文字入力、日付や時刻、本機の初期化などに関する機能を設定できます。
デバイス情報	本機の状態を確認できます。

1 待受画面で → (アプリ一覧)

アプリ一覧画面が表示されます。

2 (設定)



端末設定画面が表示されます。

3 各項目を設定



設定が完了します。

! ご注意

- 端末設定画面では、タッチパネルで操作してください。
[▲] [▼] [◀] [▶]、[OK] (決定) で操作する際に、カーソルの表示がされず動作しない場合があります。

ネットワークとインターネット

Wi-Fiやモバイルネットワーク、eSIM、モバイルデータ通信の使用量などに関する設定ができます。

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
インターネット	モバイルネットワークや Wi-Fi 接続について設定します。
SIM	USIM カード / eSIM について設定します。
機内モード	電源を入れたまま、電波を発する機能をすべて無効に設定します。(→ P.24)
SIM → eSIM 切り替え	利用する SIM を切り替えます。

1 [設定] → 「ネットワークとインターネット」



ネットワークとインターネット画面が表示されます。

2 各項目を設定



設定が完了します。

Wi-Fi設定

Wi-Fiの設定については、「Wi-Fiについて」(→P.21)をご覧ください。

eSIM設定

eSIMの設定については、「eSIMについて」(→P.11)をご覧ください。

アプリの確認

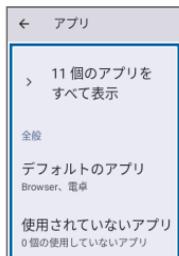
項目	説明
XX 個のアプリをすべて表示	本機にインストールされているすべてのアプリの確認や設定をします。
デフォルトのアプリ	標準で起動するアプリを設定します。
使用されていないアプリ	一定期間使用されていないアプリを表示します。

1 (設定) → 「アプリ」



アプリ画面が表示されます。

2 各項目を選択



アプリを確認できます。

■ アプリ／機能ごとにバッテリーの最適化を設定する

アプリ画面でアプリ／機能を選択→「アプリのバッテリー使用量」→「制限なし」／「最適化」／「制限」

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。
- 端末やアプリが、しばらく使用されないときは、バッテリーの消費を抑えるため、アプリは動作を終了します。

！ ご注意

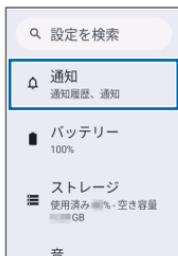
- バッテリーの最適化を行った場合、画面消灯中（充電中を除く）はアプリが動作せず、意図しない現象が発生することがあります。その場合は、「アプリ／機能ごとにバッテリーの最適化を設定する」（→P.135）で設定してください。
- バッテリーの最適化については、IP無線では設定できません。
- システムの更新、アプリアップデートで電池の最適化を設定すると、動作に支障がでます。対象のアプリは「アプリ／機能ごとにバッテリーの最適化を設定する」で、「制限なし」に設定して利用ください。

通知の設定

通知に関する設定ができます。
設定できる項目は次のとおりです。

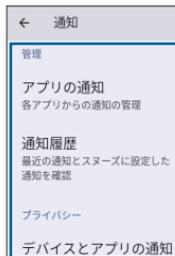
項目	説明
アプリの通知	各アプリの通知設定を管理します。
通知履歴	通知の履歴を利用するかどうかを設定します。
デバイスとアプリの通知	通知を読み取れるアプリとデバイスを管理します。
ロック画面上の通知	ロック画面での通知表示を設定します。

1 [設定] → 「通知」



通知画面が表示されます。

2 各項目を設定

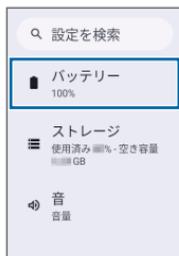


設定が完了します。

バッテリーの設定

バッテリーの消費を抑える設定や、バッテリーの使用状況を確認できます。

1 [設定] → 「バッテリー」



バッテリーの設定画面が表示されます。

2 各項目を選択

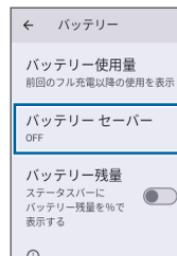
バッテリーの状態が確認できます。

バッテリーセーバーを利用する

1 [設定] → 「バッテリー」

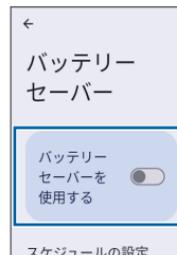
バッテリーの設定画面が表示されます。

2 「バッテリーセーバー」



バッテリーセーバー画面が表示されます。

3 「バッテリーセーバーを使用する」



バッテリーセーバーの設定が完了します。

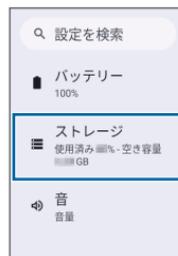
- 「バッテリーセーバーを使用する」を選択するたびに、ON () / OFF () が切り替わります。
- バッテリーセーバーをONにすると、バッテリーアイコンが橙色に変わります。
- 「90%充電されたらOFFにする」をONにすると、バッテリー残量に応じてバッテリーセーバーをONに設定することができます。
- バッテリーセーバーをONにすると、位置情報サービス、大半のバックグラウンドデータを制限します。また、アプリアップデートや、同期を使用するその他のアプリは、起動しても更新されない場合があります。機能の制限を掛けたくない場合は、バッテリーセーバーをOFFに設定してください。

ストレージの設定

本体のストレージ容量の確認ができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
ストレージ	本体の使用容量／空き容量を表示します。
ストレージマネージャ	ストレージ管理ツールを使用するかどうかを設定します。
空き容量を増やします	ファイルを削除して空き容量を増やします。
各アプリの使用状況	各アプリのストレージの使用状況を表示します。

1 (設定) → 「ストレージ」



ストレージの設定画面が表示されます。

2 端末のストレージ容量を確認

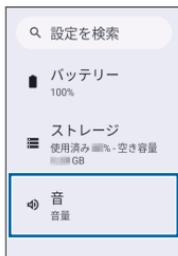


音の設定

通知音、アラーム音など、音／通知に関する設定ができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
メディアの音量	音楽や動画などの音量を設定します。
通話の音量	通話の音量を設定します。
着信音の音量	着信音の音量を設定します。
通知の音量	通知音の音量を設定します。
アラームの音量	アラーム音の音量を設定します。
デフォルトの通知音	通知音の種類を設定します。
デフォルトのアラーム音	アラーム音の種類を設定します。
画面ロックの音	画面ロック時に音を鳴らすかどうかを設定します。
充電時の音	充電を開始または終了したときに、音を鳴らすかどうかを設定します。
タッチ／クリック操作音	タッチ／クリック操作時に音を鳴らすかどうかを設定します。

1 (設定) → 「音」



音画面が表示されます。

2 各項目を設定

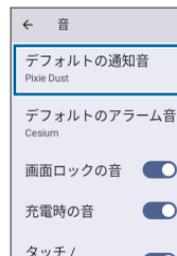
設定が完了します。

通知音を設定する

1 (設定) → 「音」

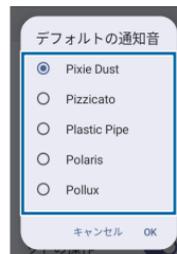
音画面が表示されます。

2 「デフォルトの通知音」



デフォルトの通知音画面が表示されます。

3 設定する通知音を選択



通知音が再生されます。

4 OK (決定)

設定が完了します。

! ご注意

- 通知音はカレンダー機能の予定通知音などで使用されま
す。IP無線では使用していません。

■ 通知音の音量を設定する

1 設定 (設定) → 「音」

音画面が表示されます。

2 「通知の音量」を ◀ ▶ で設定



- ● を右にドラッグすると音量が大きくなり、左にドラッグ
すると音量が小さくなります。

! ご注意

- IP無線の着信やメッセージ受信などの通知音量も変更さ
れます。IP無線の各音量については、「音量キー (▲/
▼)」(→P.43) / 「音の設定」(→P.139) をご覧ください。

アラーム音を設定する

1 (設定) → 「音」

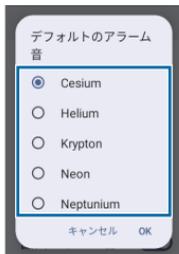
音画面が表示されます。

2 「デフォルトのアラーム音」



デフォルトのアラーム音画面が表示されます。

3 設定するアラーム音を選択



アラーム音が再生されます。

4 (決定)

設定が完了します。

■ アラームの音量を設定する

1 (設定) → 「音」

音画面が表示されます。

2 「アラームの音量」を で設定



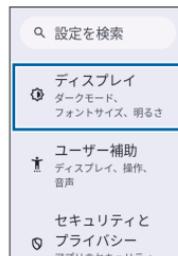
- を右にドラッグすると音量が大きく、左にドラッグすると音量が小さくなります。

ディスプレイ設定

画面の明るさや点灯時間（スリープ）などが設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
明るさのレベル	画面の明るさを設定します。
ロック画面	ロック画面での通知表示を設定します。
画面消灯	一定時間操作をしなかったときに、画面が自動消灯するまでの時間を設定します。
ダークモード	ダークモードの ON / OFF やスケジュールの設定ができます。
表示サイズとテキスト	画面に表示される文字やアイコンなどのサイズを設定します。
夜間モード	画面の青色を抑えた表示するかどうかを設定します。
スクリーンセーバー	スクリーンセーバーを設定します。

1 (設定) → 「ディスプレイ」



ディスプレイ画面が表示されます。

2 各項目を設定

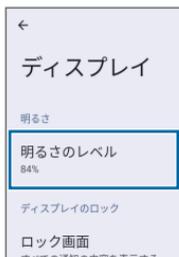
設定が完了します。

！ ご注意

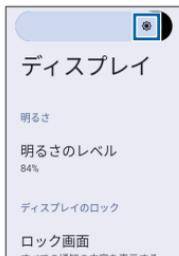
- 一部の設定項目は、IP無線の画面や挙動にも影響があります。

ディスプレイの明るさを設定する

- 1 **⚙️(設定)** → 「ディスプレイ」
ディスプレイ画面が表示されます。
- 2 「明るさのレベル」



- 3 画面上部の **⚙️** を左右にドラッグ

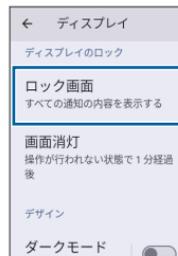


- **⚙️** を右にドラッグするとディスプレイが明るく、左にドラッグすると暗くなります。

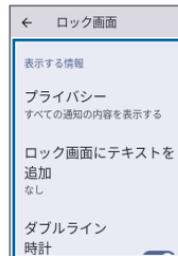
ロック画面を設定する

ロック画面に表示される通知やテキストなどを設定します。

- 1 **⚙️(設定)** → 「ディスプレイ」
ディスプレイ画面が表示されます。
- 2 「ロック画面」



- 3 各項目を設定



設定が完了します。

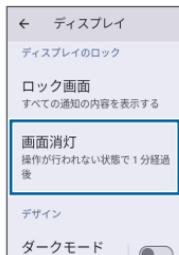
ディスプレイ消灯時間を設定する

スリープ状態になるまでの時間を設定できます。画面ロックが設定されている場合は、スリープ状態になると同時に画面がロックされます。

1 ⚙️(設定) → 「ディスプレイ」

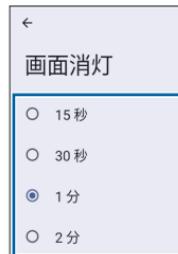
ディスプレイ画面が表示されます。

2 「画面消灯」



画面消灯画面が表示されます。

3 消灯時間を選択



ディスプレイ消灯までの時間設定が完了します。

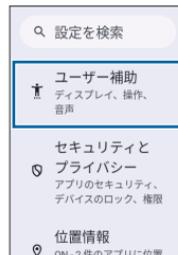
- 画面ロックを「なし」に設定している場合は、を押すとスリープ状態が解除されます。
- 画面がロックされている場合は、「画面ロックを解除する」(→P.16)をご覧ください。

ユーザー補助の設定

字幕、拡大操作など、本機を使用する上で便利なユーザー補助機能を設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

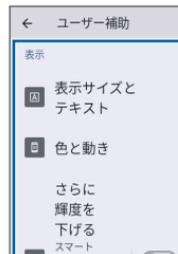
項目	説明
表示サイズとテキスト	画面に表示される文字やアイコンなどのサイズを設定します。
色と動き	色補正や色反転、アニメーションなどを設定します。
さらに輝度を下げる	画面の明るさを通常の設定よりもさらに暗く設定します。
拡大	画面を拡大できるように設定します。
ユーザー補助機能メニュー	大きな画面メニューを利用できるようにするかどうかを設定します。
タイミングの調節	長押し の時間や、メッセージの表示時間などを設定します。
音声の調整	モノラル音声や左右の音量バランスを設定します。
ユーザー補助機能のショートカット	ユーザー補助機能のショートカットの利用について設定します。

1 (設定) → 「ユーザー補助」



ユーザー補助画面が表示されます。

2 各項目を設定



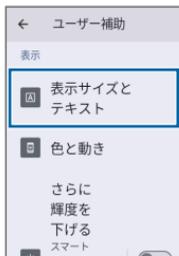
設定が完了します。

！ ご注意

- 一部の設定項目は、IP無線の画面や挙動にも影響があります。

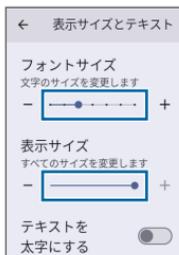
表示サイズとテキストを設定する

- 1  (設定) → 「ユーザー補助」
ユーザー補助画面が表示されます。
- 2 「表示サイズとテキスト」



表示サイズとテキスト画面が表示されます。

- 3 「フォントサイズ」「表示サイズ」を   で設定



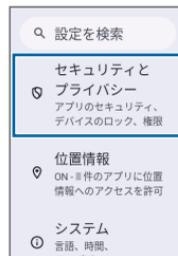
- を右にドラッグするとサイズが大きくなり、左にドラッグすると小さくなります。

セキュリティとプライバシーの設定

画面ロックなどに関する設定ができます。設定できる項目は次のとおりです。

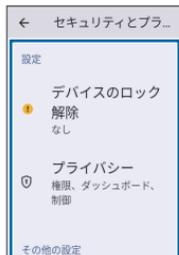
項目	説明
デバイスのロック解除	画面ロックの解除方法を設定します。
プライバシー	アプリに許可する権限やパスワード入力時の表示などを設定します。
その他のセキュリティとプライバシー	ロック画面上の通知、アプリ固定などを設定します。

- 1  (設定) → 「セキュリティとプライバシー」



セキュリティとプライバシー画面が表示されます。

2 各項目を設定



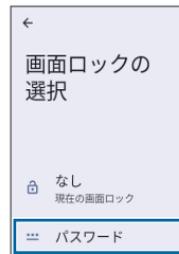
設定が完了します。

画面ロック（パスワード）を設定する

- 1  (設定) → 「セキュリティとプライバシー」
セキュリティとプライバシー画面が表示されます。
- 2 「デバイスのロック解除」 → 「画面ロック」



- 3 「パスワード」 → 画面の指示に従ってパスワードを設定



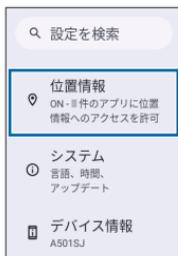
画面ロックが設定されます。

位置情報の設定

位置情報の利用を設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

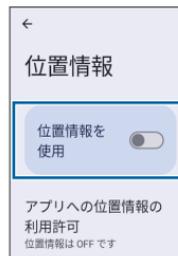
項目	説明
位置情報を使用	位置情報を使用するかどうかを設定します。
最近のアクセス	最近の位置情報を利用したアプリを表示します。
アプリへの位置情報の利用許可	位置情報の使用をアプリに許可するかどうかを設定します。
位置情報サービス	Wi-Fi ネットワークや Bluetooth [®] デバイスのスキャンを許可するかどうかを設定します。

1 [設定] → 「位置情報」



位置情報画面が表示されます。

2 「位置情報を使用」



位置情報がONになります。

- 「位置情報を使用」を選択するたびに、ON () / OFF () が切り替わります。本アプリで位置情報を利用する場合はONに設定してください。
- 確認画面が表示された時は、画面の指示に従って操作してください。

3 各項目を設定

設定が完了します。

！ ご注意

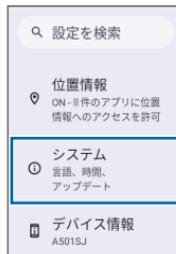
- IP無線で「位置情報機能を使用する」(→P.68) 場合は、位置情報をON にしてください。
- IP無線の「位置情報利用有無設定」(→P.86) が「利用する」の場合、「位置情報の設定」を「OFF」としても一定時間後に「ON」に自動で切り替わります。「位置情報の設定」を「OFF」に設定する場合は、事前に「位置情報利用有無設定」を「利用しない」としてください。

システムの設定

言語設定や日付／時刻、リセットなどシステムに関して設定ができます。設定できる項目は次のとおりです。

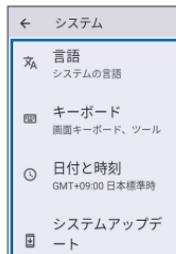
項目	説明
言語	表示言語や文字入力に関する機能を設定します。
キーボード	ソフトウェアキーボードに関する設定をします。
日付と時刻	日付や時刻に関する機能を設定します。
システムアップデート	本機のアップデートを行います。
リセット オプション	ネットワーク設定やアプリなどのリセット、初期状態へのリセットなどができます。

1 (設定) → 「システム」



システム画面が表示されます。

2 各項目を設定



設定が完了します。

言語を設定する

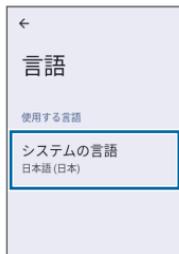
表示言語や文字入力に関する機能を設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
システムの言語	画面に表示される言語を設定します。

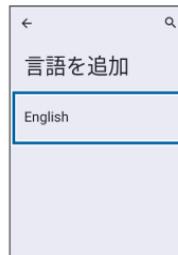
1 (設定) → 「システム」 → 「言語」

言語画面が表示されます。

2 「システムの言語」



3 「言語を追加」 → 言語を選択



表示される言語が追加されます。

■ 言語の操作

• 表示する言語を変更する

言語画面で、表示する言語の  を一番上にドラッグ

日付と時刻を設定する

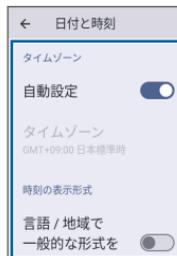
日付や時刻に関する機能を設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
日時を自動的に設定	日時を自動的に設定します。
日付	日付を手動で設定します。「日時を自動的に設定」を解除（ <input type="radio"/> 表示）にしているときに設定できます。
時刻	時刻を手動で設定します。「日時を自動的に設定」を解除（ <input type="radio"/> 表示）にしているときに設定できます。
自動設定	タイムゾーンを自動で設定します。
タイムゾーン	タイムゾーンを手動で設定します。「自動設定」を解除（ <input type="radio"/> 表示）にしているときに設定できます。
言語／地域で一般的な形式を利用する	ユーザーの言語／地域の標準に従って24時間表示／12時間表示が自動設定されます。
24時間表示	時刻表示を24時間制にするかどうかを設定します。

1 (設定) → 「システム」 → 「日付と時刻」

日付と時刻画面が表示されます。

2 各項目を設定



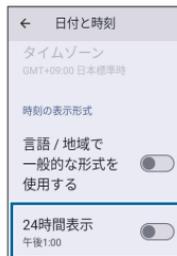
設定が完了します。

■ 24時間表示に設定する

1 (設定) → 「システム」 → 「日付と時刻」

日付と時刻画面が表示されます。

2 「24時間表示」



- 「24時間表示」を選択するたびに、24時間表示（）／12時間表示（）が切り替わります。

リセットする

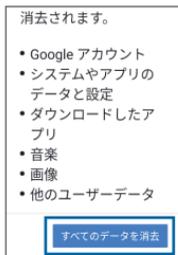
本機のデータの初期化を行うことができます。

- 初期化すると、本機内のすべてのデータが消去されます。事前に必要なデータはバックアップをとることをおすすめします。
- 消去された内容は元に戻せません。十分に確認したうえで操作してください。

1 (設定) → 「システム」 → 「リセット オプション」

リセット オプション画面が表示されます。

2 「すべてのデータを消去 (初期設定にリセット)」 → 「すべてのデータを消去」



本機のデータの初期化が開始されます。

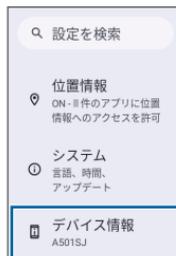
- ソフトウェア更新で更新した内容は維持され、アプリアップデータでアップロードした内容は初期化されます。
- 「eSIMを消去」にチェックを入れると、現在使用しているeSIMが削除されますのでご注意ください。
- eSIMの消去は、eSIMを有効化してから行ってください。

デバイス情報

本機の状態を確認できます。確認／設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
デバイス名	本機のデバイス名を確認します。
電話番号	本機の電話番号を確認します。
法的情報	サードパーティ ライセンスなどを確認します。
SIM のステータス	SIM の各種情報を確認します。
モデル	モデルを確認します。
EID	EID を確認します。
IMEI	IMEI を確認します。
Android バージョン	Android OS のバージョンを確認します。
IP アドレス	IP アドレスを確認します。
Wi-Fi MAC アドレス	保存済みの Wi-Fi アクセスポイントの各種情報を確認します。
デバイスの Wi-Fi MAC アドレス	本機の Wi-Fi MAC アドレスを確認します。
Bluetooth アドレス	Bluetooth アドレスを確認します。
稼働時間	本機の稼働時間を確認します。
ビルド番号	ビルド番号を確認します。

1 (設定) → 「デバイス情報」



デバイス情報画面が表示されます。

2 各項目を確認



デバイス情報が確認できます。

9 困ったときは

トラブルシューティング 156

トラブルシューティング

故障とお考えになる前に

気になる症状の内容を確認しても症状が改善されない場合は、お買い上げ販売店までご連絡ください。

充電が開始されない

- 電池が空になっていた可能性があります。一定時間経過したら充電が開始されるかご確認ください。

充電時にLEDが点灯しない

- 接続が正しくされていない可能性があります。本機のUSB Type-C™端子からUSB Type-Cプラグを抜き、再度、奥までプラグを差しなおしてください。
- 電池パックが正しく取り付けられていない可能性があります。再度電池パックを取り付けなおしてください。
- 端子にゴミなどが付着している可能性があります。電池パックの接続部、本体の各端子などに汚れがないことを確認の上、再度取り付けなおしてください。

ACアダプタによって充電時間が長くなる

- 急速充電用以外のACアダプタを使用した場合、充電速度が遅くなる場合があります。ソフトバンク指定のACアダプタ（SoftBank SELECTION製 USB PD-PPS対応 USB Type-C 急速充電ACアダプタ [SB-AC22-TCPD]）をご利用ください。

操作をしていないのに電池の消耗が早い

- アプリが操作をしていない状態でも通信を行っている場合があります。「ネットワークとインターネット」（→P.133）でバックグラウンドのモバイルデータ通信の制限を行うことで改善する可能性があります。

特定の場所で電池の消耗が早い

- 電波の弱い場所や圏外の場所に長時間いると電池の消耗が早くなる場合があります。電波状況の良いところをご利用ください。

電池の消耗を抑えたい

- 電池の消費を抑える省電力機能の設定をオンにすると電池の消耗が改善される可能性があります。「バッテリーセーバーを利用する」（→P.137）をご覧ください。

発信／着信しない

- 待受画面の通話状態表示部が灰色になっている場合は、電波の弱い場所や圏外にいる可能性があります。電波状況がよいところに移動してください。
- 「無線機情報（接続設定）」が正しく設定されていない可能性があります。「無線機情報について」（→P.45）をご覧ください。
- ご利用規約に同意していない可能性があります。ご利用規約に同意いただかないとIP無線の機能が使えません。

■ 音声を送信できない

- PTTスイッチを押し続けていますか。PTTスイッチを押し続けている間、音声を送信されます。
- PTTスイッチを押してから間を空けずに話し始めると、通話の頭が途切れることがあります。このような場合はPTTスイッチを押して、一呼吸おいてから話し始めてください。
- 「PTTスイッチ利用設定」のPTTスイッチ利用設定によっては、PTTスイッチが無効となります。

■ 相手の声が聞こえない

- 音量設定は適切ですか。
- 通話が途切れる場合は、電波状況がよいところに移動してください。

■ 通話が切断される

- 通話開始から5分を経過すると、自動的に通話が切断されます。
- 無通話状態が続いていませんか。無通話状態が続いた場合、「無通話タイムアウト設定」(→P.85)で設定した時間が経過すると、自動的に切断されます。
- 「圏外時、切断ON/OFF設定」(→P.92)の設定によっては、電波状態が悪くなったときに通話が切断される場合があります。

■ メッセージを送受信できない

- 電波の弱い場所や圏外の場所にいませんか。電波状況がよいところに移動してください。
- 「メッセージ送信設定」(→P.88)にチェックを入れないとメッセージを送信できません。
- 指令局、位置情報サービスにはメッセージを送信できません。
- 本機が指令局の場合は、メッセージを送受信できません。

■ 本機で送信した画像／動画ファイルが801KWで正常に表示されない

- カメラ設定メニューの設定内容をご確認ください。801KWに対して画像を送る場合は「写真の解像度」を「4000×3000 (4:3, 12MP)」以下に、動画を送る場合は「ビデオの保存形式」を「3GPP」に設定する必要があります。

■ IP無線アプリから通信ができない

- 「機内モード」になっている可能性があります。「機内モードについて」(→P.24)をご覧ください、機内モードを解除してください。
- Wi-Fi環境でのご利用の場合、インターネット接続に対して通信ポートに制限がかかっている可能性があります。通信ポートの制限状態をご確認ください。

■ アンテナマークに「4G」の表示がない

- 「モバイルデータ通信」がオフになっている可能性があります。
待受画面で  →  (アプリ一覧) →  (設定) → 「ネットワークとインターネット」 → 「SIM」 → 「SoftBank」 → 「モバイルデータ」 ( 表示) で設定をご確認ください。

■ 位置情報が利用できない

- 「位置情報利用有無設定」(→P.86) にチェックを入れないと位置情報機能を利用できません。
- 本機が指令局の場合は、位置情報機能を利用できません。
- 屋内やトンネルなどのGPS衛星の電波がさえぎられる場所にいる場合には、位置情報が送信できず、誤差が生じる場合があります。電波状況、見晴らしのよいところへ移動してください。

■ 非常送信機能 (RED ALERT) がパスワードを入力しても解除できない

- RED ALERT解除のパスコードやパスワードが間違っていないですか。設定したパスコードやパスワードを忘れた場合には本機を初期化する必要があるため、忘れないようにしてください。

■ 音量を上げてもビープ音が聞こえない

- オーディオアクセサリ (スピーカーマイクやBluetooth®ヘッドセットなど) のご利用時は、キーの操作音や通知音などのビープ音が鳴らなかったり、非常に小さく聞こえたりする場合があります。

■ Bluetooth®機能を利用できない

- 機内モードではありませんか。機内モードを設定すると、Bluetooth®機能は無効になります。機内モードを設定したあと、再度Bluetooth®機能を有効にすることができます。

■ Wi-Fi機能を利用できない

- 機内モードではありませんか。機内モードを設定すると、Wi-Fi機能は無効になります。機内モードを設定したあと、再度Wi-Fi機能を有効にすることができます。

■ 外部接続機器 (オプション品) から音が出ない

- 外部接続機器の接続部は奥まで確実に差し込まれていますか。プラグが外れかけている場合は正しく動作しません。
- 本機の電源を切り、プラグを差し込み直してから電源を入れてください。
- プラグに異物や汚れが付着していたり、本機のイヤホン端子が詰まっていたりしていませんか。

■ カメラ／ライトが起動できない、自動的に終了する

- 端末の温度が高い状態になると、カメラやライト、その他アプリが正常に動作しなかったり自動的に終了する場合があります。端末の温度が下がるのを待ってから使用してください。

10 保証／仕様／お問い合わせ先

保証とアフターサービス.....	160
仕様	161
本製品の比吸収率（SAR）について	162
Specific Absorption Rate (SAR) Information of This Product (for Japan)	163
お問い合わせ先.....	165
索引	167

保証とアフターサービス

保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。
- 修理を依頼される場合は、お買い上げ販売代理店またはお問い合わせ先へご相談ください。その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。
- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

アフターサービスについて

- 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な内容などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータや設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は、修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ販売代理店またはお問い合わせ先までご連絡ください。

仕様

本体

項目	説明
通信方式・周波数	4G-LTE：900MHz帯、 1.7GHz帯、2.1GHz帯 4G：2.5GHz帯
サイズ (幅 × 高さ × 厚さ)	約 58mm × 136mm × 22mm
重さ (電池パック、ベルト クリップ含む)	約 250g
通信形態	プレストーク方式
使用可能時間※ ¹	約 14 時間 (受信 1：送信 1： 待受 8 の割合で使用した場合)
連続待受時間※ ¹	約 38 時間
充電時間	約 126 分
ディスプレイ	約 2.6 インチ TFT 液晶
カメラ	有効画素数約 1,600 万画素
防水/防じん	IP68※ ²
Wi-Fi	
通信規格	802.11 b/g/n
周波数帯	2.4GHz 帯

項目	説明	
Bluetooth®		
通信方式	Ver.5.0	
出力	Class 1	
対応 Bluetooth® プロファイル	HSP、HFP、A2DP、AVRCP	
使用周波数帯	2.4GHz 帯	
内蔵メモリ	ROM	32GB
	RAM	2GB
音声最大出力	2W	

※¹ 電波状況や使用環境により変動します。

※² IPとは、「IEC (国際電気標準会議)」によって定められている防水・防じんの保護規格です。IPに続く2ケタの数字の左側が「防じん等級」右側が「防水等級」を表し、IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに電話機を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。高温のお湯や冷水につけたり、高温のお湯や冷水をかけたりしないでください。IP6Xとは、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌(かくはん)させた後、本商品の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

• 数値は目安となり、ご利用環境、設定によって異なる場合があります。

電池パック

項目	説明
電圧	4.2V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	3,200 mAh
サイズ（幅 × 高さ × 奥行）	約 58×86×10 mm

本製品の比吸収率（SAR）について

この製品【A501SJ】は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

この製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するように設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、本製品を含む携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この製品を身体に装着した場合のSARの最大値は0.912W/kg（※2）です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満たしています。

この製品を含む携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。

この製品は人体の近くでご使用になることが可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、この製品が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）に規定されています。

※2 携帯電話サービスと同時に使用可能な無線機能を含みません。

Specific Absorption Rate (SAR) Information of This Product (for Japan)

This device [A501SJ] complies with the Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.

This device was designed in observance of the Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves (*1) and the limits of exposure recommended in the international guidelines, which are equivalent to each other. The international guidelines were set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health conditions.

The technical regulations and the international guidelines set out the limits of exposure to radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of human tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones including this device is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this device when worn on the body is 0.912 W/kg (*2). There

may be slight differences of the SAR values in individual product, but they all satisfy the limit.

The actual value of SAR of this device while operating can be well below the indicated above. This is due to automatic changes in the power level of the device to ensure it only uses the minimum power required to access the network.

By using accessories such as a belt clip holster that maintains a 1.5 cm separation with no metal (parts) between it and the body, this device is certified the compliance with the Japanese technical regulations.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications
Website: <https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses
Website:

<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html> (in Japanese only)

- *1 The technical regulations are provided in Article 14-2 of the Radio Equipment Regulations, a Ministerial Ordinance of the Radio Act.
- *2 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE.

お問い合わせ先

お困りのときや、ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売代理店までご連絡ください。

盗難に遭った場合

本機が盗難に遭った場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。

■ ソフトバンク・ビジネスコールセンター

0800-919-3909（無料）

平日10:00から17:00まで（年末年始を除く）

連絡していただきたい項目

- ① 商品名（A501SJ 標準セット）
- ② お客様会社名・事業所名および機関名、所在地、ご担当者氏名
- ③ ご連絡先電話番号

ご利用を停止される場合

本機のご利用を停止される場合は、ご利用停止の手続きを行ってください。

■ ソフトバンク・ビジネスコールセンター

0800-919-3909（無料）

平日10:00から17:00まで（年末年始を除く）

連絡していただきたい項目

- ① 商品名（A501SJ 標準セット）
- ② お客様会社名・事業所名および機関名、所在地、ご担当者氏名
- ③ ご連絡先電話番号
- ④ ご利用停止予定日

索引

英数字

Bluetooth	124
eSIM	11
GPS	68
IP無線カメラ	77
IP無線設定	84
アプリ情報	99
アプリ設定	91
機能設定	87
ご利用規約	98
接続設定	85
設定情報管理	97
RED ALERT	65
USIMカード	8
取り付け	8
取り外し	10
Wi-Fi	21

あ

アフターサービス	160
アプリ一覧	103
位置情報	68
移動局	40
イヤホン端子	5
お問い合わせ一覧	165
音声レコーダー	120

か

カレンダー	106
機内モード	24

グループ管理	93
コントロールセンター	36

さ

充電	13
ショートカット	62
登録	62
状態表示	67
指令局	40
シンプルモード	75
ステータスアイコン	36
ソフトウェア更新	30

た

多機能ノブ	52
タッチパネル	16
端末設定	132
着信	55
不在着信	58
着信履歴	54
通知	136
通知アイコン	35
通知音	47
通知バー	35
通話	46
個別通話に切り替え	57
着信	55
抜ける	57
呼出モード (通話モード)	46
録音	64
通話モード	46
通話履歴	54
通話録音	64

デバイス情報	154
電源	14
入れる	14
切る	14
電卓	120
電池バック	6
取り付け	7
取り外し	7
時計／アラーム	109
トラブルシューティング	156

な

ネットワークとインターネット	133
----------------	-----

は

発信	46
ショートカットから	51
通話履歴から	51
番号帳から	51
発信履歴	54
バッテリー	137
番号帳	59
確認	60
登録	59
編集	60
比吸収率 (SAR)	162
非常送信機能	65
ファイル	119
ブラウザ	115
ベルトクリップ	6
ホーム画面	34
保証	160

ま

マイクゲイン	93
マナーモード	21
無線機情報	45
メッセージ	68
確認	71
作成／送信	68
転送	71
返信	71
メッセージ一覧画面	73
メッセージ詳細表示画面	74
文字入力	25
ソフトウェアキーボード	26
テンキー	25
日本語入力	28
文字種切り替え	27

や

呼出モード	46
-------	----

ら

ライト	106
リセット	153

A501SJ 標準セット 取扱説明書

2026 年 1月 第 1 版発行

ソフトバンク株式会社

* ご不明な点はお求めになられた
販売代理店にご相談ください。

機種名 A501SJ

製造元 西菱電機株式会社

A501SJ 取扱説明書



キケン！
水ぬれ充電



やめましょう、
歩きスマホ。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSの回収・リサイクルの協力者。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる通信端末・付属品類をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した通信端末・付属品類はリサイクルするためご返却できません。

※プライバシー保護の為、端末に記憶されているお客様の情報（アドレス帳・通話履歴 メール等）は、事前に消去願います。